

トマ噺い生

July

5号<通刊10号>

特集/海につながる 海でつながる

対談/「私たちの海」を考え



む! / 前田哲男

ひつ / 三輪妙子

ビュー / P・バラカン

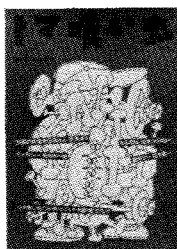
こんな船が来る! / ニュージャージー寄港の意味

トマ喰い虫

バック・ナンバー

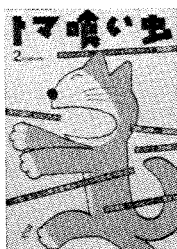
●特集/いま反核を主張する：
ダグラス・ラミス、豊崎博光●
井手敏彦（ずいひつ）●こんな
本「核」のできるまで（インタ
ビュー）●定価250円

4号



1号

●飛鳥田一雄（インタビ
ュー）●糸土広+菅孝行
（対談）●山本コウタロー
は語る●定価200円



2号

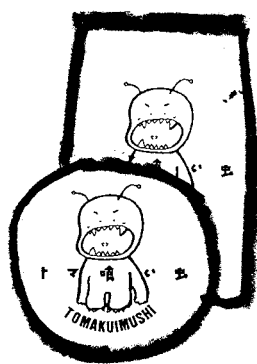
●関屋綾子（インタビ
ュー）●宮崎駿は語る●柳
谷あき子+鈴木道子（対
談）●井手孫六●定価250円



3号

●非核ニュージールランド
をつくり出した人々（イン
タビュー）●名取弘文+
小嶋さちほ●定価250円

「虫」がバッチ・便せんになりました。



●バッチ・個200円
（ピンク、ブルー、グ
リーン）
●便せん
一冊300円（B5版）
●発売 トマ喰い虫社

編集部通信

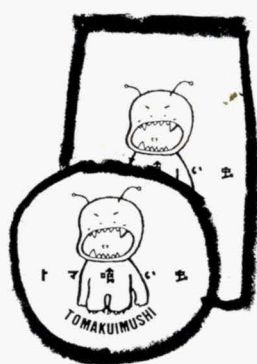
●日本の原子力発電所から出た核
廃棄物を太平洋に投棄する計画が
あったことはご存知の方も多いで
しょう。この時、投棄場所にされ
ようとした海の近くの北マリアナ
諸島に住む人々は、「誰のもので
もない海だから捨てないでほしい」
ということを日本の政府に伝えま
した。すると、政府の高官はこれ
に答えてこう言ったといひます。
「誰のものでもない海だからこそ
捨てても構わない」と。どちらの
発言が人間としてまともな神経を
持っていると言えるでしょうか。
●このエピソードに象徴されるよ
うに、ひとつの海をとらえるにもほ
んど正反対と言つてもいい視点
があることに気づかれます。この
号では、そんな海と人とのかわり
を核状況の中で考えてみました。
▲バッチ、便せん、バックナンバ
ー御希望の方は、トマ喰い虫社ま
で申込み下さい。なお、3号は残
りわずかです。

「トマ喰い虫」改装5号（通巻10号）
1986年8月1日発行 定価300円
発行 トマ喰い虫社

〒150 東京都渋谷区渋谷2-5-9
パル青山502
☎03・498・6095
郵便振替 東京6-136148
（口座名 トマホークの配備を
許すな/首都圏運動）

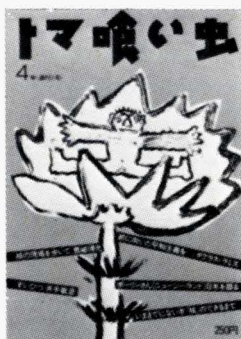
●おたよりください。
「トマ喰い虫」5号はいかがで
したか？
あなたの感想、意見、アイディ
ア、イラスト、各地からの報告な
どを同封のハガキでお寄せくだ
さい。待ってます！





「虫」がバッチ・便せんになりました。

- バッチ 1個 200円
(ピンク、ブルー、グリーン)
- 便せん
1冊 300円 (B5版)
- 発売 トマ喰い虫社



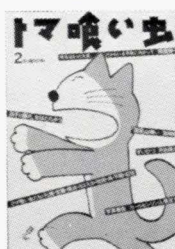
4号

トマ喰い虫 バック・ナンバー

●特集/いま反核を主張する：
ダグラス・ラミス、豊崎博光●
井手敏彦(ずいひつ) ●こんな
本「核」のできるまで(インタ
ビュー) ●定価250円



1号



2号



3号

●飛鳥田一雄(インタビ
ュー) ●糸土広+菅孝行
(対談) ●山本コウタロー
は語る ●定価200円

●関屋綾子(インタビ
ュー) ●宮崎駿は語る ●柳
谷あき子+鈴木道子(対
談) ●井手孫六 ●定価250円

●非核ニューージーランド
をつくり出した人々(イン
タビュー) ●名取弘文+
小嶋さちほ ●定価250円



編集部通信

●日本の原子力発電所から出た核
廃棄物を太平洋に投棄する計画が
あったことはご存知の方も多いで
しょう。この時、投棄場所にされ
ようとした海の近くの北マリアナ
諸島に住む人々は、「誰のもので
もない海だから捨てないでほしい」と
いうことを日本の政府に伝えま
した。すると、政府の高官はこれ
に答えてこう言ったといひます。
「誰のものでもない海だからこそ
捨てても構わない」と。どちらの
発言が人間としてまともな神経を
持っていると言えるでしょうか。
●このエピソードに象徴されるよ
うに、ひとつの海をとらえるにもほ
んど正反対と言つてもいい視点
があることに気づかされます。この
号では、そんな海と人のかかわり
を核状況の中で考えてみました。
▲バッチ、便せん、バックナンバ
ー御希望の方は、トマ喰い虫社ま
で申込み下さい。なお、3号は残
りわずかです。

「トマ喰い虫」改装5号(通巻10号)
1986年8月1日発行 定価300円
発行 トマ喰い虫社

〒150 東京都渋谷区渋谷2-5-9
パル青山502
☎03・498・6095
郵便振替 東京6-136148
(口座名 トマホークの配備を
許すな!首都圏運動)

●おたよりください。
「トマ喰い虫」5号はいかがで
したか?
あなたの感想、意見、アイディ
ア、イラスト、各地からの報告な
どを同封のハガキでお寄せくだ
さい。待ってます!



トマ喰い虫 改装5号(通刊10号) '86/8/1

ニュージャージーはトマホークの現住所… 2

特集 海につながる 海でつながる

核の地図にされた太平洋…………… 6

対談「私たちの海」を考える…………… 8

●ネルソン・フォスター+梅林宏道

核実験の島 永久に故郷を奪われた人々……12

●荒川俊児

海洋汚染の行くえ……………14

●水口憲哉

こんな船が来る!

ニュージャージー寄港の意味……………16

●新倉裕史

ずいひつ●三輪妙子……………18

私の主張●太田武二……………19

連載インタビュー④ メディアのなかから

●ピーター・バラカン……………20

トマ喰い虫訪問①●木風舎……………23

海の軍備撤廃のための週末……………24

地域から……………26

三宅島レポート 軍事基地反対の声……………28

●寺澤晴男

トマホーク・データ……………30

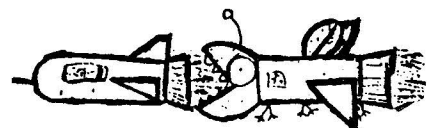
読む! 基地と海洋戦略……………32

●前田哲男

バック・ナンバー……………36

表紙イラスト●勝川克志

題字●平野甲賀



トマ喰い虫とは、神奈川県横浜市の久里浜中学の生徒が考え出したトマホークをたべてしまう生き物です。今、世界中に繁殖している益虫なのだ!



トマ喰い虫とは

84年の6月、アメリカは新しい核ミサイルの配備を開始した。むこう岸はソ連、という日本列島周辺の海は、この新種の核ミサイルの筆頭の発射海域とされ、荒波が立ち続けている。ミサイルの名前は「トマホーク」。核巡航ミサイルというのが種類の呼び名だ。

新しさの理由をあげてみよう。

- ①射程距離が長い。(2500km)
- ②抜群の命中精度。(九州から発射して、北海道にあるデニスコートをはずさない)
- ③地をはうようにして飛び、発見されにくい。
- ④個定した発射基地を必要としない。

などなど。
トマホークを積んだ艦船は、東京湾上から直接ソ連を核攻撃できるというわけだ。これらの特徴から導き出される「使い方」は、ズバリ、先制攻撃。このトマホークの一撃が、核戦争そのものの開始となってしまう。

アメリカは核戦争で勝ち残るということを本気で考え、そして、ついに「使える」核兵器を作ってしまった。もちろん、これまでの核兵器だって「使わない」と決まっているわけではない。だけどそれら主力の核兵器は、相手にその気を起こさせないように、相手を上まわる破壊力を持ってすごむ、というのが基本的な「思想」だった。そこがひっくりかえってしまえば、もともこもないという心配は、自らをかえりみて、なおふっ切れないジレンマとしてふくれる。で、やられる前にやれ。大きな破壊力よりも命中精度、早いスピードよりも発見されにくい飛び方、のトマホークが「使える」核兵器として登場したというわけだ。

ニュージャージーはトマホークの現住所

このぶっそうなモノが、日本周辺だけでもこの10年間非核弾頭も数えれば約4000発も配備されるという。いや、もうそれは始まっていて、横須賀、佐世保にこのところひんばんに出入港をくりかえしている原予力潜水艦が、トマホーク搭載の主役だ。

これだけ問題が大きいから、トマホーク搭載可能な原子力潜水艦の入港に対して強い抵抗があるのは当然だ。人々の強い反対の声、あるいは切なる願いを反映して、基地をかかえる自治体はトマホーク反対の姿勢を続けている。横須賀市や神奈川県は、トマホーク搭載可能な原子力潜水艦の入港のたびに、外務省へ出向き、「核を積んでいるのか、いないのか確かめてほしい」とがんばっている。

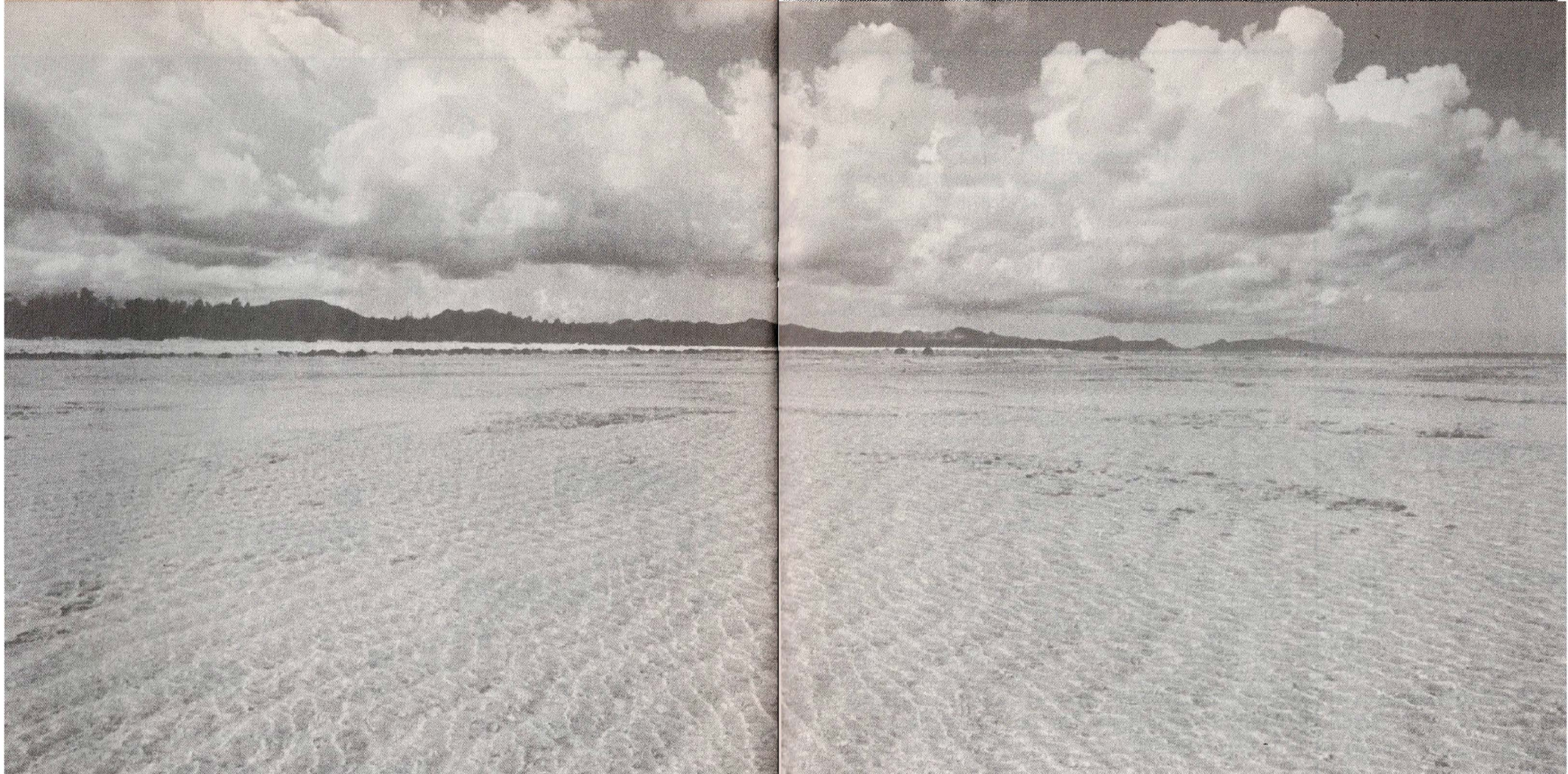
そんな時に、この夏、戦艦ニュージャージーという鋼鉄のカタマリが日本寄港をねらっているという。原潜とちがひ、発射管がモロに見える分、なおさらトマホーク搭載はリアルな問題となるだろう。今のところ、最も明白な核巡航ミサイル、トマホークの現住所、それがニュージャージーだ。

このニュージャージーの入港は、国、自治体、そして私たちすべてに、それぞれの「非核の決意」を、するどく問いかけている。



証言
1986年2月7日米議会にて
レーマン米海軍長官
「昨年、私たちは戦域レベルの核抑止のために核弾頭をもった巡航ミサイル・トマホークの配備を開始しました。それらは、現在、わが攻撃型潜水艦、駆逐艦、それに復役した戦艦(複数)に載っており作戦可能な状態にあります」
(注:当時戦艦は2隻しかなく、それはニュージャージーとアイオワである)

海にながる



今、私たちの前に「ふたつの海」がひろがっている。といっても、ふたつの海が別々に存在しているわけではない。もともとひとつのものでしかない海に対する、ふた通りのかかわり方が存在しているということだ。

「いわゆる太平洋戦略地域でいま配備されている種々の核兵器体系により、我らの環境は脅威にさらされている。ひとたび原子力潜水艦が沈没し、爆撃機の核弾頭が一発でも海に落ちれば、魚そして我らの暮らしは何世紀も危機にみまわれる」

非核を求める太平洋の人々が1980年に採択した「非核太平洋人民憲章」は、私たちの目の前にひろがる海の姿をこんなふうを描いている。

そして、もうひとつの海。海とともに生きる民が、水や魚と一体になって共生しようとする海。同じ「非核太平洋人民憲章」はこう言っている。

「我ら太平洋人民は、我らの恵みとなるような西欧文明しか選ばないという意思を再確認する。我らのやり方で、我らの運命に従い、我らの環境を守りたいと思う。我ら古来の伝統的慣習の方が、自然と人間の均衡をよりよく守る」

よくいわれることだが、太平洋を核の海とする者たちの論理は、「海は誰のものでもない。だから勝手に使う」というものだ。それに抗する人々の論理は、

「海は誰のものでもない。だからこそ勝手な使い方はすべきではない」。いや、ことの順序は逆で、もともと誰のものでもない海にいだかれた人々のくらしが先にあった。そこへ「力ある者たち」が後からおどり出たのだ。「ミクロネシア連邦憲法草案」には、こうある。

「戦争を知ったが故にわれわれは平和を望む。分割されたが故に統一を願う。支配されたが故に自由を求める」

広い太平洋の中でも、とりわけ軍事化の密度が高いのは、じつは日本列島周辺の海だといわれている。だが、「私たちの海」の軍事化に対して、私たちはどこかのん気だ。海をうめたて、そこに生きる命あるものを根だやしにし、あるいは島であることを否定し、海の豊かさを見失ってきた私たちだからこそ、そのことが見えてこないのだろうか。

「ミクロネシア連邦憲法草案」は、こうも言っている。

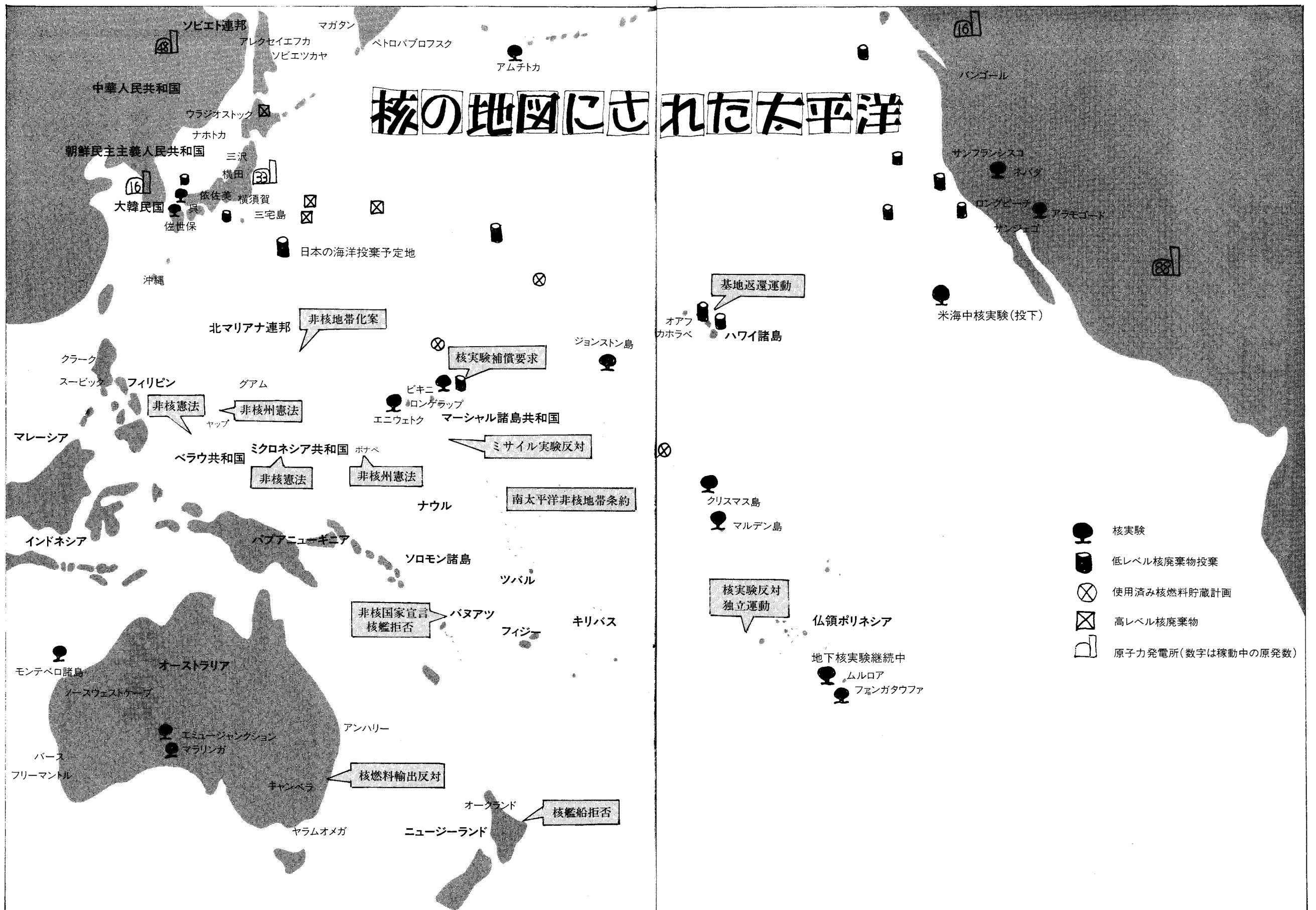
「海はわれわれを分かつのではなく一つにしてくれる。島々はわれわれを支え、島々が集まってできた国家は、われわれを大きく強くしてくれる」

「ふたつの海」が、今、私たちに何を語ろうとしているのか。

(写真は、石垣島白保の海。小橋川共男さん撮影)

海でつながる

核の地図にされた太平洋



●対談●「私たちの海」を考える

マゼランが「発見」するまで、太平洋の島々にくらす人々にとって、海は生きる源であり、神の宿る場所だった。ところが、このひとりのオランダ人がやって来てからというもの、海は別の意味を持たれ続けている。太平洋という海を共有する私たちは、このふたつの意味の違いを見つめてみたい。

梅林 地球の全面積の70%を占める海が、今や軍事戦略の上で非常に重要な場所になっていると言われています。陸地よりも広い面積を持つ海だからこそ、科学技術の発達とともにおごれる大国によって戦争遂行の場として着目されるようになってきたと思うのですが、そういった海洋の軍事化を単に軍事的な側面にとらえるのではなく、人類と海とのかかわりという、もう少し広い視野から考えてみようと思っています。つまり、

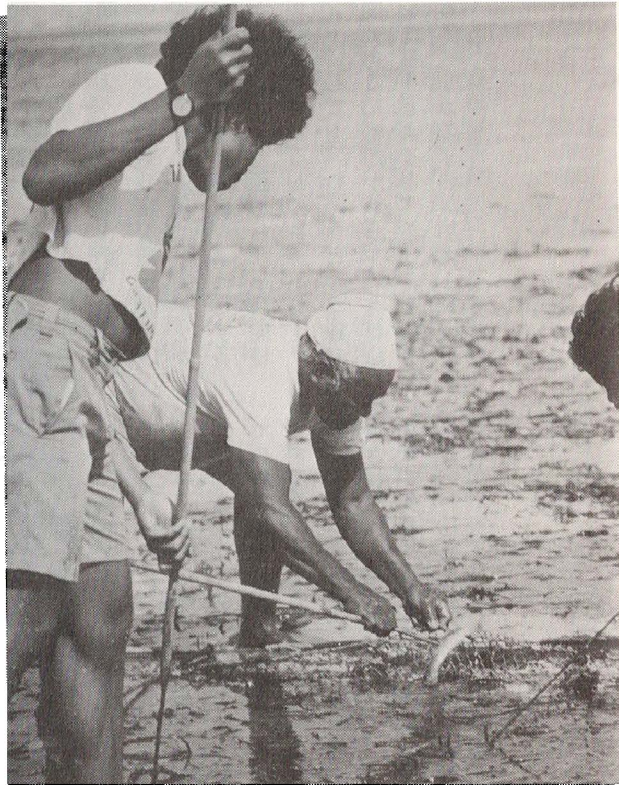
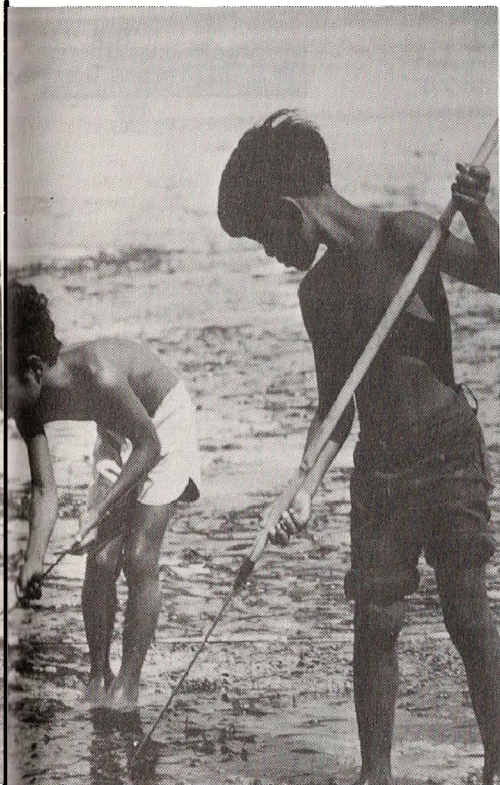
海には魚や鯨がいて、島々が浮かんでいて、そこで何万年も前から自然と人間の生活が営まれていく。そこに黒い軍艦が浮かび、核ミサイルが発射され、核実験が行なわれる、という構図があるわけですね。

フォスター そのような視野で考えることに賛成です。昨年（1985年）の6月にハワイで巡航ミサイル、トマホークに反対する行動をした時、私たちも同じように考えました。75匹の海の生物と人

ネルソン・フォスター

海の軍備撤廃を太平洋運動

●アメリカ・ホルチモア生まれ。2歳からハワイに住み、ハワイ大学大学院卒。教職につく。その後、海の軍事化を憂い、教師をやめ平和運動に参加。35歳。



間が真珠湾に集まって、トマホークを裁く芝居をやったんですよ。海は多くの生物の共同社会であるとともに、人間にとっては食糧の源であり、人々の交易する場でもありました。アイランダー（島々に生活する人々）は今も海をそのようなものと考え、固有の文化を育てています。ですから、その海を軍事化してゆくことは、そのような根源的な海のありようを変えてしまう挑戦なのです。

軍事化される海

梅林 はじめに、今、海洋の軍事化が問題とされる背景はどんなところにあると思いますか？

フォスター それはたぶん潜水艦に戦略ミサイルを装備するようになったことから始まったと思いますね。もし核戦争になっても、潜水艦なら海に潜っているので生き残り兵器として使えるわけです。でも、今日のような海の緊張状態は、1980年代になってアメリカのレーガン大統領が積極的に海洋戦略を展開するようになってからでしょう。世界を支配する強いアメリカをとりもどすために、レーガンは海軍の大増強を決定しました。これは600隻体制と呼ばれているんですが、1980年に479隻だった米海軍の軍艦を600隻に増やそうとしているんです。その計画の中に、トマホークというひとつの兵器システムを導入しました。そしてベトナム戦争

以後予備役に入っていた戦艦ニュージャーシーなどにもトマホークを新たに装備して復役させ、水上打撃部隊（SAG）を編成することなどを決定しています。

この海軍増強はきわめて攻撃的な性格のもので、「前方攻撃戦略」と呼ばれているように、ソ連を海から包囲するという挑発的なものです。当然のことですが、これは核を含む戦略です。

梅林 それに対してソ連の方はどうなっているのでしょうか。

フォスター ソ連が海洋の軍事化を刺激し、永続化させる役割を果たしていることは否定できない事実です。カムラン湾の基地の強化

や、ソ連独自の海洋発射巡航ミサイルの開発などはその一例でしょう。でも、アメリカ海軍が認めているように、アメリカの方がこの点に関してはるかに優位に立って海洋戦略のイニシアティブをとっているんです。数の上ではソ連の方が多くの軍艦を持っていますが、大部分は沿岸警備艇などの小さい船です。しかも母港にいたり係留されている期間が長く、軍事レベルでははるかにアメリカよりも低い位置にいます。

そもそもレーガンの海洋戦略はこの優位を前提として、一気に世界支配を確立してしまおうとするものですから。

梅林 宏道

トマホークの配備を許すな全国運動

●兵庫県生まれ。東京大学大学院卒。その後、東北金属工業社をへて東京都立工科短期大学助教授となり、80年に同短大を退職。平和反核運動に参加。48歳。

対談

梅林 アメリカがリビア攻撃を行った時、まさにこれがアメリカの海洋戦略なんだと思いましたね。わざわざリビアが領海を主張しているシドラ湾に入って3隻の空母と1隻のエイジス艦を含めて演習をやって挑発する。リビアからの威嚇射撃を誘っておいでたたく。しかも三度目の爆撃にはトマホークを使うと言って、トマホークを積んだ原子力潜水艦を地中海に入りました。

フォスター その通りですね。アメリカの海洋戦略は単にソ連を核で封じ込めるだけにあるのではなく、アメリカの意に沿わない第三世界の民衆の動きをおさえつけるためのものもあるんです。それに、レーガンの理屈では、第三世界の背後にはいつもソ連がいるというのですから、結局この二つはひとつながりのものなんです。

「非核」と「独立」のつながり

梅林 海とともに生活するアイラ

ンダーたちにとって、こういった海洋の軍事化はどんな意味を持つのでしょうか。

フォスター 具体的には軍艦の寄港が増える、母港化される、基地化がすすむ、核の衝突の危険性が増加するという事態が進行します。そのことは海に生きるということが絶えず政治的な緊張の中におかれるということを意味します。つまり、魚をとるということさえ政治的な意味を持たれるということですね。海におけるあらゆる活動が、いやでも大国の権力のせめぎ合いの構造の中に位置させられます。一つ一つの船が調べられ、たりするわけですから。

梅林 海洋の軍事化にもなって、アイランダーたちの生きる権利や先住民としての主権が大国の都合によってますます翻弄されるということですね。

フォスター そういうことです。だから、太平洋から核をなくすという運動に、太平洋の国々の「独立」の要素が加わるのは、言ってみれば当然のことなんです。つまり、太平洋の非核化と、太平洋諸国の独立は、きわめて深い関係にあるんだと思います。

たとえば、赤道直下にあるキリバスでは、ギルバート島付近でソ連がトロール漁業権を得ています。そのことがアメリカを刺激して、漁業が軍事的な意味を持たざるを得なくなっています。

また、アメリカはペラウ共和国の非核憲法を事実上骨抜きにするために、自由連合協定を結ばせようと、やっきになっていますが、2月の投票では長い沈黙を破ってソ連の介入の兆が現れています。最も堅固に非核を守っているバヌアツは今、キューバやベトナムやリビアと外交関係を結ぶことによって自立を確保しようとしています。長い間のマルコス独裁政権を破ったフィリピンの民衆の未来は、アメリカが軍事基地を持ち続けようとするために、大きく歪められる可能性が残されているし、ニューギラ



ネルソン・フォスターさん ▶

ンドにしても、れっきとした独立国であるにもかかわらず、非核法を作ろうとすると、ありとあらゆるアメリカの干渉が加えられ、そ

の結果、法律案はアメリカにたいへん気がねしたものになっていきますね。

梅林 そして日本では、アメリカの海洋戦略を西太平洋でささえる

ために自衛隊の役割が強化されつつあるわけです。それと同時に、日本が、実際に戦争を行なえる国家になるようにと、あらゆる分野での転換が求められてきている。ですから、日本の民衆もまた、自分たちの未来を選択する岐路に立たされているんです。よね。
フォスター つまり、太平洋を通じて、われわれはたいへんうまく

◀ 梅林宏道さん



噛み合う問題を共有しているといっているでしょう。

梅林 そう思います。そこで、現在、私たちは軍艦の寄港を禁止する、特に核を積んだ艦船の寄港を太平洋のあらゆる港で拒否してゆく運動をめざしているわけですが、あなたは、いわばこの運動の提唱者ですけど、きっかけはアメリカ海軍がトマホークを配備したことだったんでしょうか？

フォスター ええ。私は、アメリカはトマホークを配備することによって大きな矛盾をも背負ったんだと思っています。なぜなら、核、非核の区別のつかない巡航ミサイルを全軍艦の3/4にも及ぶ200隻に積むんですから、アメリカのほ

「じい生きたいのか」という原点

フォスター そういう中で、ニューギラランドのとっている核艦船拒否の姿勢、つまり、「核がない」という証明がなければ総ての船を入港させないという方針は、新しい波を生み出していると思います。オーストラリアの軍艦拒否運動も元気で

すし、フィリピンでもとんど全部の戦闘用軍艦の寄港が核の疑惑を持ったものになったと言っている。だから、艦船のほとんどが反核運動に直撃される対象になるんです。

梅林 日本の場合では、日本政府が建前としても非核三原則を守るといふことをくり返し表明しなければならぬ状況の中では、実際にはアメリカの戦略に協力していることが、ますます大きな矛盾になってくるでしょう。

アキノ政権が新憲法に非核をもち込む可能性ががあります。ノルウェーでは非核を決議した港が増えていて、オランダでは去年、戦艦アイオワが入港を拒否されて、この港へも入れませんでした。

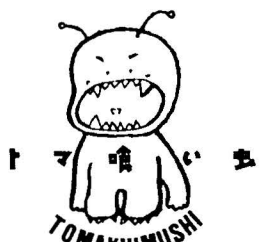
ただ、そんな中で、「日本式解決法」が拡散しようとしていることも事実です。つまり、非核政策を尊重するように見せて、現実には核艦船の寄港を既成事実化できるといふのが日本式解決法というやつなんです。ペラウやニューギラランドにこの方法が持ち込まれる恐れがありますね。

梅林 広島、長崎の被爆体験を持つ国が、日本式解決法を輸出するなんていうことは、本当に恥ずかしいことです。建前の非核じゃない本物の非核にするために、私たちはもう一度、自分たちの原点にかえてみる必要があると思います。つまり、私たちはどう生きたいのか、という原点にです。

民衆が自分たちの生きたい生をとりもどそうとすると、イヤでも世界政治のしがらみに投げ出される。核は民衆のそんな自立を束縛する象徴でもあるんです。それから、海と人間とのかかわりという

ことから見ると、一方では海を生の源としている人々がいる。その一方で、海を戦争遂行の場にして人々がいる。私たちはそのどちらにつながるのか、という原点ですね。そして、そのために私たちは何をすべきなのか、あるいは少なくとも何をすべきでないのか、という、生き方の選択なんだと思います。

そんな原点的な熱望を実現するための方法として、核艦船を拒否するという一つの方法をとる時、そのことによって何か大切なものをたくさんとりこぼしているような感じがするかもしれません。それは当然のことです。でも、日本で本当に核艦船を止めるということとをキチンとやる中で、とり残しているものの行方を見つめてゆけるのではないかと。今、私はそんなふうに考えています。



●核実験と太平洋住民

永久に 故郷を奪われた 人びと

1946年、太平洋のビキニに上陸したアメリカ軍の将校は「世界の戦争を終わらせるため」の実験を行なうと称して166人の島民を移住させた。以降、太平洋地域で核所有国が行なった核実験は約242回を数えている。

その結果、この海域に住む本来の住民たちはほとんど永久的に故郷を奪われたうえ、今も飢餓や放射能汚染に苦しむ生活を強いられている。

世界地図を拡げて場所と回数を書きこんでいくと、一目でわかると思うんですが、核実験場にされたのは太平洋地域が圧倒的に多いんですね。他にソ連、大西洋、アフリカでも行なわれていますが、集中しているのは太平洋です。マール諸島のビキニ環礁、エニウェトク環礁、アリエーシャン列島でアメリカが、ポリネシアのムルロア環礁、ファンガタウファ環礁でフランスが、オーストラリアのモンテベロ諸島、マラリング、エミュージャンクション、それから今はキリバスという独立国になっているクリスマス島、そしてマ

ルデン島でイギリスが、それぞれ行ないました。現在は一応フランスをのぞいた国は太平洋での核実験を中止している状態ですが、問題は実験を止めたから解決するということではなくて、その後も人々の健康や環境に深刻な影響を与えているし、実験国側ではその責任を一切とっていないということです。

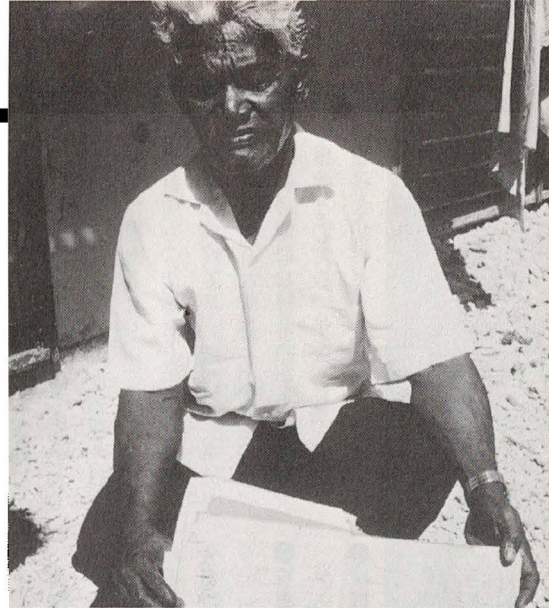
特に日本でも知られているのは、アメリカが1954年3月1日にビキニ環礁で行なった「ブラボ」

という水爆実験です。当時付近を航行中だった日本の漁船、第五福竜丸が死の灰を浴びて被爆、乗組員の久保山愛吉さんが亡くなりました。この水爆は広島型の約1100倍の規模で、たいへんな量の死の灰をマール諸島の北部に降らせました。ビキニから約150〜190キロ離れたロンゲラップでは、当時82人の住民がいて、おなかの中の赤ちゃん4人を入れると86人の人たちがこの死の灰を浴びたわけです。

荒川俊児

反核バシフィックセンター東京

「たし、何もわからない子供たちは、めずらしさに、地面をころげまわって遊んだりしたんですね。一日目にアメリカの調査団がやってきて、「水を飲むな、ヤシの実を飲め」とだけ言って帰っちゃ



▲当時村長だったジョン・アンジャインさん
(豊崎博光さん撮影)

です。4年間に妊娠した32人のうち、約41%の13人が流産しています。それから9年くらいすると甲状腺の障害が出はじめます。甲状腺の手術を経験した人は半数以上です。それからガン。今現在、最初に被爆した86人のうち、24人の方がすでに亡くなっている。島には医者がいませんから、病気が重くなるとイバ

食料も医療も 乏しい生活

こんな状態なのに、アメリカは今でも安全だと言っているわけです。アメリカ側の言い分では、今放射線を計ると400ミリレムで、許容量の500ミリレム以下だから安全だというんです。でもこの500ミリレムという数字は外部照射という被爆の問題で、体内被爆、たとえば汚染した飲料水

からの影響なんてまるで考えていない数字なんです。重大なのはむしろ体内被爆の問題です。あらゆる食物の中に放射能がある中で暮らしていたわけですからね。アメリカは安全だということを主張してまずから、まったくと言っていいほど責任をとっていません。日々暮している中で、いろいろな症状が出てくるものですから、ロンゲラップの人々は島を集団脱出したんですが、一切援助しませんでした。グリーンピースという反核・国際環境保護団体の船が住民たちを運んだんです。医療活動は皆無ですね。やっていることはあくまでも調査だけです。身体検査して、チェックして、それで終わり。毎年一回全員が検診を受けさせられるんです。その報告書が毎年公表されていますね。調査しているのはアメリカのエネルギー省です。

ロンゲラップの住民はメジャト島というもともと無人島だったところに300人ほどが移り住んでいます。が、なんといっても住みにくいからこそ無人島だったわけで、そこで医療もなく、家を建てるところから生活を始めてるわけですが、かなりきびしい生活状態で、各国の反核運動に援助を求めています。こういった問題はロンゲラップに限りません。たとえばエニウェトクの人たちの場合は、実験で島を追いついて、実験終了後に戻ってきたんです。その人たちがどうなるかということがありますが、それからビキニの場合は、もう転々と流浪の民をさせられてきています。1946年に核実験のためにロンゲリック島へ移され、そこも無人島だったから食料状況が悪くて飢餓状態になると、今度はクワジエリン島へ、それからキリ島、そして一度は故郷のビキニに戻るのですが、たちまち体内からプルトニウムが検出されて、再びビキニを出て、今はキリ島に住んでいます。

日本は「唯一の被爆国」とよく言われますが、これは、だから、正しくはないんですね。逆に犯罪的でもある。被爆者は太平洋にもいるし、アメリカにだっているのに、「唯一の被爆国」と言ったとたんにも他のものを見えなくしちゃっているんですから。

海洋の放射能汚染は核実験や核廃棄物によるものばかりではない。今、海は考えられるすべての方向から汚染が進行している。そして、天にツバするがごとく、その代償は、やがて私たちのもとへと返ってくるのだ。

事の区別がなくなつたということである。

海洋における放射能汚染が考え得るすべての方向から進行していると報告したのは今から三年前である。（『核の素顔』女子パウロ

●軍事核施設や原発によって沿岸から①(①)⑤の詳細は左頁)核爆発実験によって空中から②

東京水産大学助教授

高レベル核
廃棄物の海
底埋設によ
って海底の
地中から③

より深刻に
より複雑に……

- 低レベル核廃棄物の海洋投棄によって海底表面から④
- 原潜の事故や核物質たれ流しによって水中から⑤

というように。この状況はその後より深刻化すると同時にわかりにくくなっている。

今年4月のソ連チェルノブイリ原子力発電所の事故のあと、日本の各地では8000キロの遠距離から飛んでくる放射能に、1960年代、ソ連や中国が大気圏で核爆発実験を行なった際のフォールアウト（死の灰）や放射能雨のことを思い出している人もいる。あの当時、政府は、危険だからなるべく雨にあたらない方がよい、と言ったのに、なぜ今度の政府の主張は安全一点張りなのか、原子力



発電の安全宣伝のために放射能を
あびさせられてはたまらない、自
分の命は自分で守るしかないと思
え出した人も多い。

陸上におくれて、日本の沿岸各地の海藻から高濃度のヨウ素131が検出されはじめた。食物連鎖と濃縮が関係しても半減期が8日というヨウ素131はそれほど心配することはないが、半減期が25年や30年のセシウム137やストロンチウム90について、これから水産物にどのように蓄積されるのか心配である。1960年代、太平洋のスルメイカの肝やビンナガマグロの心臓からかなり高濃度のコバルト60が検出されている。コロンビア川の河口のサケをハンフォードの軍事核施設からの放射能で汚しているアメリカは、このビンナガマグロの汚染は自国の軍事施設からの放射能も関係するが、それ以上に中国の核爆発実験の影響が大であると言いつれてゐる。

この4月、2隻の原子力潜水艦が座礁し、1隻は廃棄処分にするこ
とになったという。その事故の際
放射能は海中に出なかったとい
うが本当か、廃炉の処分地はどこ
か、海洋における放射能汚染発

軍事がからむことによって、私達に見えていたと思っていたものが正体不明になってしまうこともある。今冬は、日米、日ソの北太

ある。今冬は、日米、日ソの北太平洋における漁業交渉で日本は手痛い仕打を受けた。資源の減少や乱獲があるので止むを得ないことかと思っていたら、それら漁業規制水域とSSBN（戦略核ミサイル原潜）の作戦海域とが重なり合っていることが原因するのではないかという見方が報じられている。米ソの太平洋艦隊はSSBNをそれぞれ3隻と28隻配備しているというが、その行動や放射能管理については、私達は全く知る術をもたない。獲られずに沿岸にサケがもどって来たと喜んで、それが何が原因かはわからない放射能で汚染しているというのでは悲惨である。

によりスウェーデン沖の魚まで汚染しているといわれるイギリスのセラフィールドの再処理工場の近くでは、一度沈んだブルトニウムが浮遊物となって波により海岸線に打ち上げられはじめているという。

放射能廃棄物を海洋投棄しようとした人々は、太平洋で生きる人々にはばまれ、今青森県六ヶ所村にそれらの核のゴミを押しつけようとしている。その六ヶ所村泊では、漁民ががんばり、母親が立ち上がり、子や孫のために海を守り生命を守る運動が確かな拡がりをもちながら強まっている。太平洋の島々で暮す人々と海とのかかわり方、海と生命への思いを共有しはじめたともいえる。

スウェーデンが、原子力潜水艦や原子力発電所事故で、ソ連に対して言うべきことはいう。ニュージーランドもアメリカに毅然たる態度を示す。

共に生きる
という観点から

世界の人々に広島と長崎が見え出している。原水爆禁止の運動の芽の萌え方を思い起し、原発と原爆を考える小さな集りをもう一度積み重ねていくことが大切だろう。海に生きる人々に、ソ連、東欧そ

海洋における放射能汚染

して中央アジアの人々の苦しみが見えてくるとき、地球上で共に生

①日本の福島第一原子力発電所の排水口の800メートル沖のホッキ貝が、コバルト60などの放射能で汚染されている。ホッキ貝は呼吸のために一日5tもの海水を取り込み、その中から酸素と同時にえさ(動物プランクトンの死体など)をとりこむ際、えさに含まれる放射性物質をとるため、小さな体に大量の放射能がたまる、というこらしい。

②1960年代まで、アメリカ、ソ連、フランス、イギリス、中国などが大気圏での核実験を行ない、死の灰という形で放射性物質の多くが海に降った。現在でも、海の中のいろいろな生物に、死の灰による放射能が検出されている。

③アメリカが計画中。6000メートルの海底に穴を掘って、そこに高レベルの放射性廃棄物を埋める。放射性物質は海の中に溶け出る。

きるといふ観点から眞の核廃絶が
なしとげられると思う。

し、海の生物を汚染するが、放射能が弱まって地上の人間に届くときには害はないであろう、というのが計画者たちの考え。しかし、実際には海底の流れを含めて海の中はわからないことばかりである。いったん、海底で野放しにされた放射性物質がどんどん地球の海を汚染していったとしても、もはや回収することはできない。

④1945〜65年、アメリカが放射性廃棄物を入れた5万本近いドラム缶をサンフランシスコ沖に捨てた。その一部が壊れて放射能が漏れ出し、付近の魚が汚染されている事実が明らかになっている

⑤アメリカの原子力潜水艦が日本などの近海で、事故による放射能漏れで海洋汚染を起こしていることが、アメリカの研究機関の調査で明らかになっている。さらに、原子炉のフィルターとして使われる樹脂は高度に放射能で汚染されたまま、日常的に海中に捨てられている、とも報告されている。

『核の素顔』（市川定夫他著、女子パウロ会発行）より

こんな船が来る！

この8月に、ニュージャージーという船が長崎県の佐世保か、神奈川県横浜の寄港を予定しています。このニュージャージーはアメリカの戦艦で、核つきの巡航ミサイル「トマホーク」を装備していることはほぼ確実だと見られています。つまり、非核三原則のある国に、核兵器を積んだ船が堂々と入港しようとしている、とい

うことになるわけです。この事実には、私たちはどう向き合うのでしょうか。ニュージャージーがどんな船なのか、そして、その寄港がどんな意味を持っているのかを見つめてみることで、私たちが建前ではない本物の「非核」を実現する道へ踏み出す一歩を考えてみたいと思います。

●ニュージャージー寄港には、こんな意味がある

戦艦ニュージャージーがいろいろなシロモノか、ということについて、特にその要注意点についてここで整理してみよう。

まず第一に、強いアメリカをスローガンとするレーガン政治の象徴。よみがえった巨艦。

第二は、過去2回の復役もそう

だったが、今回の復役でも、ニカラグア、レバノンとたて続けに参戦していること。巨砲は火が吹くためにみがかれた。

そして第三に、巡航核ミサイル、トマホークの搭載。時代遅れの巨艦は、いきなりアメリカ海洋戦略の最先端におどり出た。

- 艦船番号：B・B-62
- 基準排水量：45,000トン
- 全長：266.4m
- 全幅：32.4m
- 速力：33ノット

戦艦「ニュージャージー」とは

●ニュージャージーは1943年、旧日本海軍の戦艦「大和」「武蔵」に対抗するために造られた4隻のアイオワ級戦艦の2番艦として建造されました。

●第二次大戦後、朝鮮戦争、ベトナム戦争で復活し、その後モスボール（ナフタリン漬け）状態で保存されていました。

●ところが、「強いアメリカ」をスローガンとするレーガン政権になってから、大改装がされた後、最新の核ミサイル「トマホーク」を装備して82年に復活しました。

●最近ではニカラグアやレバノンなどの紛争地帯に介入して艦砲射撃を行なっています。

これらの要素をまとめあげて言えば、ニュージャージーは、きわめて政治的なシロモノであるといえることができる。と同時に、いや、だからこそ、きわめて戦術的な艦船（巨砲をキラつかせての恫喝から、いざとなったらこれだからねと核攻撃まで組みこんだ艦船）と言えるだろう。

その気になれば 通告なく寄港も

さて、トマホークの搭載によって兵器体系の近代化を果たしたニュージャージーだけでも、戦艦大和に対抗して作られたという古さまではカバーしきれない。燃料費も人手も食う。運用コストの高さはいかにともしがたい。

そこで必要となってくるのが、作戦海域に近い寄港地である母港だ。8月、と噂されている日本への寄港も、そのための足がかりであると見ていいだろう。たとえ母港としないまでも、修理や補給

のためにいつでも寄港できる場所是不可欠だ。その場所としてねらわれているのが佐世保、あるいは横須賀というわけだ。つまりそのことは日本周辺の海が、ニュージャージーの活躍する海域になる、ということになる。

厳密に言うと、このニュージャージーは通告することなく日本の基地に入港できる。その気になれば明日にだって入港できる。日米安保条約に基づく日米間のとり決めでそうなっているのだ。にもかかわらず、くり返し「入るぞ、入るぞ」と言っているのはなぜか。

それはこの艦が問題ありの艦だからだろう。その問題とは、先にあげた点、とりわけトマホークを搭載していることにあるのはいままでもない。で、そうした問題があるから新聞はくり返し書く。というよりも問題を自覚する日米両政府が、人々ははたしてこの問題をどのくらい問題とするかを判断するために、情報を小出しにして

ニュージャージー寄港に反対する声ははじめから無視していいようなものなら、あれこれ観測気球をうち上げながら寄港をかためるなどという手順はいらないはずだ。では何を「気にして」いるのか？ 私たちの見るところでは、83年（にもニュージャージーは日本寄港をねらっていた）の横須賀市長・神奈川県知事連名の「入港反対声明」や、旧軍港市（呉、佐世保、舞鶴、横須賀）の非核アピール、「非核兵器神奈川県宣言」、あるいはトマホーク搭載予定原潜入港時に自治体（横須賀市、神奈川県）が外務省に出向いて核の有無を確認するように申し出ている、といった、自治体の非核の決意と、その自治体をささえる（あるいは自治体に要求する）人々の声が、彼らの気にするところ。

自治体が 本物の非核めざして

何年前には反核運動が口にしていたことを、今は、いろいろな問題や不十分さは残しながらも、自治体が口にするという時代なのだ。日本政府の建前だけの非核のわくを踏み越えて、自治体が本物

の非核を求めて歩み出しかねない。歩み出したら、たとえそれがすぐには何の力にもならなくとも、その質の違いは新しい歴史の始まりと言っているほどに違いない。

「トマホークの配備によって、あらゆる米艦船が反核の声をくぐらざるをえない」と言われている言葉どおりのことが現実になってきているのだ。今、私たちはそうした「現場」に立ちあっている。ニュージャージーを止めようという声は、その歴史を切り開く具体的な、そして手ごたえも、手がかかりもある行為と言っているだろう。

チエルノブイリ

東海—東京

●三輪妙子



4月末に起こったソ連のチエルノブイリ原発のメルトダウン（注①）は、世界中に衝撃を与えた。原発推進側の言う、「起こりうるはずのない」事故が、実際に起こったのだ。事故後20日以上たつ今でも、原発周辺、およびヨーロッパ各地における放射能の影響について、新しい情報が毎日のように新聞にのる。それはおよそ十分とは言えないような情報量でしかないが、放射能の恐しさについて多少なりとも知っている私にとっては、事態の深刻さが痛いほど伝わってくる。

ソ連のすぐ東に位置するポーランドでは、子供たちにヨウ素製剤が配布され、乳児用の粉乳が配給制になって

いるという。イギリス北部では、牛乳から平常値の200倍の放射能が検出され、フランスでは事故直後、国内の放射能値が平常値の400倍にも達した。西ドイツでは、一部の市や州で戸外の遊びやスポーツの禁止令が出た。

西ドイツに住む日本人のYさんは、日本の友人あての手紙の中で、まさに「黙示録の世界だ」とそのパニックぶりを表現してきたという。

これに対し、日本での反応はどうだろうか？「ホーシヤノー」という言葉が子供たちの会話に登場してきているほど、一般の生活レベルでこの事故のことが話題にな

っていることは確かだ。だが、日本の中にも原発が多数存在し、自分たちもこうした大事故の可能性と隣合わせに暮しているのだ、という事実を再認識する結果には、残念ながらならないようだ。（注②）

たとえば「千葉では雨水1リットルに4000ピコキユリーのヨウ素131が含まれていた」と報道されても、一般の人びとにはもう一つピンとこない。原子力安全委員会という国側の機関が、事故時に汚染飲料水の摂取を制限する目安として決めているヨウ素は、30000ピコキユリー（1リットル当たり）。40000ピコキユリーという値は、この制限値を越えているのだ。ここまで知らされれば、多少なりともゾッとするはずだ。ところが、ピコキユリーうんぬんという、普通の人には理解し難い数値のあとには、いつも「微量なので人体にはなんの影響もない」という科学技術庁のただし書きがつく。

チエルノブイリ原発周辺30キロは立ち入り禁止区域となつてゴーストタウン化し、100キロ離れたキエフという街では、子供たちを避難させているという。チエルノブイリからキエフまでの距離は、東海村から東京までの距離に等しい。事故後に東京で開かれた集会で、長年、東海原発の反対運動に関わっているNさんは、「今すぐにも逃げ出したい気持がする。東京の人たちは、この気持をわかってほしい」と訴えていた。

今回の大事故を機に、「原発大国」日本に住む誰もが、Nさんの気持を共有し、政府のやみくもな原発推進政策にストップをかけるような声を上げていきたい。

注① 炉心溶融。原子炉の炉心の燃料の冷却が悪くなり、過熱状態となつてついには炉心の底部にむかって燃料が溶け落ちる最悪の事故。大量の放射能が環境放出する。

注② 現在日本で運転中の原子炉は33基。

●みわたえこ 1951年生まれカナダに滞在中の77〜78年に、アメリカ・ワシントン州バンゴール基地の原子力潜水艦母港化反対運動に参加。『カレン・シルクウッドの死』（社会思想社 80年）の訳者の一人。神奈川県在住。8歳と6歳の子供の母。



反原発集会でエイサーを踊る沖縄研究会

去る5月8日から10日にかけて、沖縄から350人もの反戦地主や労働組合の活動家が上京しました。沖縄の米軍用地を87年以降、20年間強制使用しようとする日本政府に対して直接抗議するためでした。彼等は到着早々、芝公園から国会へデモ。社会文化会館での集会后、数寄屋橋周辺でピラ撒き情宣。その夜は、三多摩をはじめ各地域の労組、民主団体と交流会。宿舎の全電通会館に帰ってから深夜まで総括討論をし、翌朝は朝6時半起床。朝食後直ちに首相官邸、防衛庁、施設庁、国会、各政党への要請行動を展開。夜は日比谷野音での集会

後デモ行進。

なんとも超過密でハードな行動でした。沖縄からの東京行動団は、1972年の「復帰」前から数え切れない位取組まれています。今回の「復帰」後、最大の人員という量的側面だけでなく、参加者の心構えの面でも最も厳しいものでした。それ程までに現在の情

私の主張

沖縄から

“日本国家の転覆”を

太田武二●沖縄研究会

勢に対する沖縄人の危機意識は深刻です。

20年間強制使用というペラボウな憲法違反が、防衛施設局によれば「不当に長期なものとは言えない」と強弁され、強制使用手続きがゴリ押しされてきました。国家が強権的に私権を制限し奪いとる時にロクなことはありません。その行

たのではありませんでした。皇民化教育という徹底した沖縄文化への抹殺攻撃が強められ、忠君愛国思想の徹底化が図られました。一言でいえば「お国のため、天皇のためには生命をも捨てる」というものでした。そして、国家総動員法に基づく土地取上げと徴兵、徴用の強化でした。

今、沖縄人が感じているのは、そうした国家のために生命をも奪われることの予兆なのです。今年の春、沖縄のすべての学校では、日の丸、君が代が猛威をふるいました。有無を言わせず「日本人ならば日の丸を掲げ、君が代を歌うのは当然」であり、「職務命令」とか「県教育委員会の指示」が、生徒や教師、父母の心を踏みにじったのです。昨年の9月5日に出た一片の文部省通達

が沖縄のすべての学校とその地域に生きている人びとの心情を踏みにじってしまうという体制こそ、天皇制そのものではないでしょうか。

確かに日本の国家は危ういところに来ているのです。フィリピンで民衆の力がマルコス体制を打ち破り、韓国で人民の闘いが前進するのに見合つて日本国家の危機は深まっているのです。その国家の危機にあたって中曽根をはじめ支配者たちが必死になって「戦後政治の総決算」を推し進めるのは当然のことでしょうし、また、私たちも当然のこととして「国家の転覆」をめざしていくべきでしょう。

（おおた たけじ）

「もっとみんながテレビで

ビシビシ言い出したら

面白くなりますね」

トモエインタビュー

●ピーター・バラカン

ロック・ミュージックを音と映像の両方で紹介するテレビ番組「ザ・ポップバズMTV」のビデオ・ジョッキーとして人気上昇中のピーター・バラカンさん。個性を生かした選曲と、流暢な日本語で思ったことをどしどし言ってしまうジョッキーぶりが好評です。

——司会者が自分の意見や好みを番組の中ではっきり出すということは、今までの日本の音楽番組にはたいへん少ないことで、「ザ・ポップバズMTV」は意欲的な存在

在だと言われているんですね。「これはTBS側の企画でもあったので、僕としては恵まれていたわけでもあるんですけど、そういう意味でテレビ局側にも勇気があ

ったと思いますね。やっぱりメディアは保守的だからね。スポンサーを気にしてね」
——番組が意見を持っていることが好評ですね。
「まあ、百点満点でどのくらいかはわからないけど、もっともったいい番組にできてると思うし、やることがいっぱい残ってるからかえってやりがいがあるんですけどね」
——紹介するものはどうやって選んでいるんですか？
「ひと言で言っちゃえば主観ですね。僕ひとりが選ぶんじゃないで、スタッフ6人で選んでいます。やっぱりしゃべり手が熱意を持って紹介できるもの、自分に何か訴えるものがあるっていうことかな。ただ、ビデオの場合は曲の良さだ

けじゃなくて映像と音が一緒にあってひとつの作品っていうことですから、曲だけの場合とちよつと意味が違ってくるかもしれないけど」
——聴くだけでなく映像があることで違うと思う点は？
「特に英語の曲を日本で紹介するわけだから、聴いただけじゃわからないってこともあるでしょうね。そんな場合、ヴィジュアルなものがあると、よりわかりやすくなるってことはあるでしょうね。歌詞に意味がある場合は特に。でも、そういうものだけがいいっていうんじゃないで、いろんなものがあるっていいと思うけど。ライブもあれば、芸術的な映像があってもいいし、バラエティがあった方がいいと思う」
——たとえば曲に社会的なメッセージや背景がある場合、解説を加えてますよね。
「やっぱり作り手がそれだけの信念を持って伝えようとしていることだから、それを多少なりとも解説しないことには不親切だと思っしね。必ずしも自分の意見と合うものばかりではないけど、そんな時にも自分なりの意見は言うし」
——最近注目したものはありますか？

か？

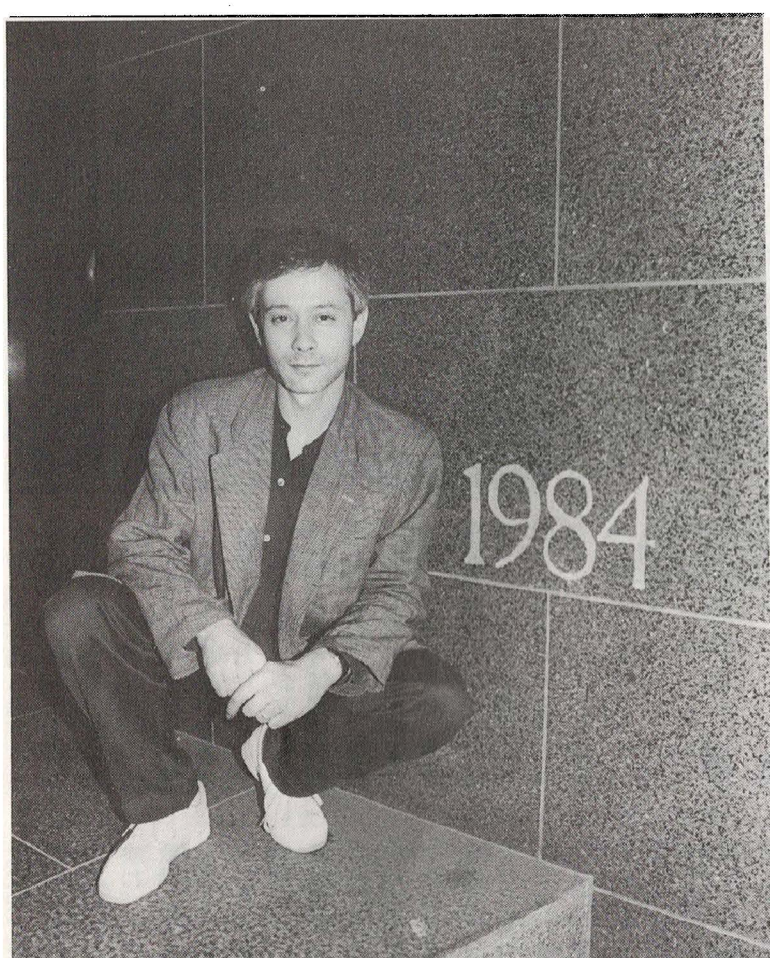
「カナダのシンガー・ソング・ライターブルース・コバーンなんか映像もよかったし、歌ってる内容もよかったですね。政治の欺瞞を歌ったものだったけど。それから最近アメリカではまたアメリカを批判するものが多くなってきましたね。ジャクソン・ブラウンな

んかもよかったです。押しつけがましくなって」

まったく関心なしが、そればかり

——そういったメッセージ性のある歌っていうのは日本にもあることはあるんですけど、なかなかヒット曲にはならない。その点、

イギリスやアメリカでは大ヒットにつながることも多いように感じますが、どんなところに違いがあるんだと思いますか？



▲ピーター・バラカンさん(渋谷にて)

「音楽だけのことじゃなくて、もっと広い意味があるんだと思います。イギリス人は反発精神が強いところがあって、何百年も前の民謡にもそんな曲があるしね。聞き手の方の政治に対する関心もわりと強い方なんじゃないかな。特に〇〇党を支持するとか党員になるとかいうんじゃないで、生活の中から問題として考えるっ

ていうか。日本の場合、まったく関心がないか、そればかりか、極端じゃない？ 何か特にやらなくとも、友だちと話してる時に、政治や社会や核の話題が出るっていうことって少ないんじゃないでしょうか」
——生活と政治の間に線をひいているというか。
「そう。ヨーロッパってアメリカとソ連の間にあって、もしも核戦争が起きたら、っていう実感がすごくあるみたいね。今は相当真剣に考えてるみたい。たとえばデモに行ったりしなくても反核の気持はあるし、反核は支持してるっていう人が多い。それにサッチャー政権になって、かなり労働党を支持する人が増えたようですね。労働党に賛成するわけじゃないけど、今のやり方はおかしいんじゃないかっていう人も含めてね」
——ピーターさんから見て、そんなイギリスとくらべて日本はどう見えますか。
「日本の人って、そこそこの生活を守ろうとするっていうか、まあイギリスほど失業者もいないし危機感がないのかもしれないけど、もっといるんなことを知れば政府



1

「木風舎」

木造りの落ち着いた店内にはいろいろな本が並んでいます。山の本、写真集、食べものの本、マンガ、詩集、もちろん反核の本も。でも、普通の書店とはどこか違う。東京都杉並区の「木風舎」。共同経営者の井上令子さんと一緒に開店して4年、店主の橋谷晃さん(写真)に会いました。元気な笑顔とていねいな応待が気持ちいい!

楽しく生きるための——本の専門店

書店を始めたきっかけは、よく聞かれるんですけどね。昔から本が好きで、本屋を開くのが夢だったの。でも、そういうようなことはなかったんですね。ただ、自分のやりたいことと食べるための手段としての仕事というものをなるべく近づけたいというのか、まあ、まったく同じというのには難しいだろうけれど、うんと離れているよりは近い方がいいと思ってね。要はそれで自分が楽しく生きていきたいというのかな、それが一番大きな動機ですね。

たまたま本というのは自分が考えていることとか、もっとみんなに知ってもらいたいことをメッセージとしては伝えやすいですね。どんな本をそろえているかっていうことでも、ひとつのメッセージになると思うんですよ。そんなことで、世の中もうちょっと生きやすくなれないかな、楽しく生きられないかなって思うと、そのための力にならないかなっていう気持ちもちょっぴりあってね。

本を選ぶ時の基準ですか? うーん、言葉で説明するの難しいですね。自分の中では自然の問題

も、くらしのことも、核の問題もつながってるんですけど、それを説明するのは難しいな。読んで楽しいこと、人にも読んでもらいたいと思うもの、何かをするための本、かな? それから強いて言うなら物がすべてじゃない価値観を見つめてみたいってこと。

僕は山が好きで、よく山へ行くんですけど、山に行くとどんなことを感じるかっていうと、自分にとって一番大切なことって何なんだろう、っていうことを考えられるような気がしてね。山の一番の良さは数字で表せないですよ。すごい景色だな、とか、たった一輪の花が素晴らしかったりとか、そんな時に、たとえばお金がたくさんあることと、ひとつの花を見ることが、どっちが幸せなんだろうって考えさせられる。そんなことで自分自身の生活や生き方が変わってきたような気がします。

ひとつの原生林を伐採すると、水害が起こりやすくなるとか、いろんな弊害があげられるけど、ほんとうに大事なことは数字にならないもので、自然というのは僕らを生かしてくれていると思うん

です。どうしても物質的なもので計ろうとする癖がでちゃってるでしょ? 僕の中にもそれはあるんだけど、だから、そんな物差しとは違う、別の物差しを自分の中にいつも持っていたいし、もしかしらそっちの方が幸せにしてくれるんじゃないかって、そんな気がするんですよ。

結局は価値観なのかな。何を幸せと感じるのか。物が豊かになって、公害を出しながら物が増えていって、それが幸せだって錯覚をじゃうじゃない。そんな幸せが実は錯覚なんだろうってことを、僕は山から学ばせてもらったって思いますね。

木風舎を始めて何が良かったって、友だちがたくさんできたこと。とにかくそれが一番うれしいことです。

●東京都杉並区阿佐ヶ谷南3-45
- 4 ● ☎ 03-398-2666 ● 午前11:00~午後7:00(定休日なし)
●書店の他に、太極拳や絵の講座、コンサート、ビデオ上映会、シンポジウム等のイベントもやっています。会場の貸出しもあり。



ピーター・バラカン Peter Barakan

1951年、イギリスのロンドン生まれ。ロンドン大学で日本語を学び、さらにロック・ミュージックが好きだったこともあって1974年に来日して音楽出版社に勤務。その後、坂本龍一などの所属するマネージメント・オフィス、ヨロシタ・ミュージックを経て、現在はフリーのビデオ・ジョッキー、ディスク・ジョッキーとして「ザ・ポップ・MTV」(TBS テレビ/火曜0:15~1:13)、「全英ポップス情報」(NHK-FMラジオ/水曜21:15~21:55)等で活躍中。

個人レベルから 始まらないと……

——音楽に関連して言うと、日本の場合、何を歌っているかっていうことにあまり関心がなくて、ただ感覚的に聞くだけっていう傾向が多いですね。
「たぶん音楽だけがどうこうっていうんじゃないって、もっといろんな本を読むようになってきたんだけど」

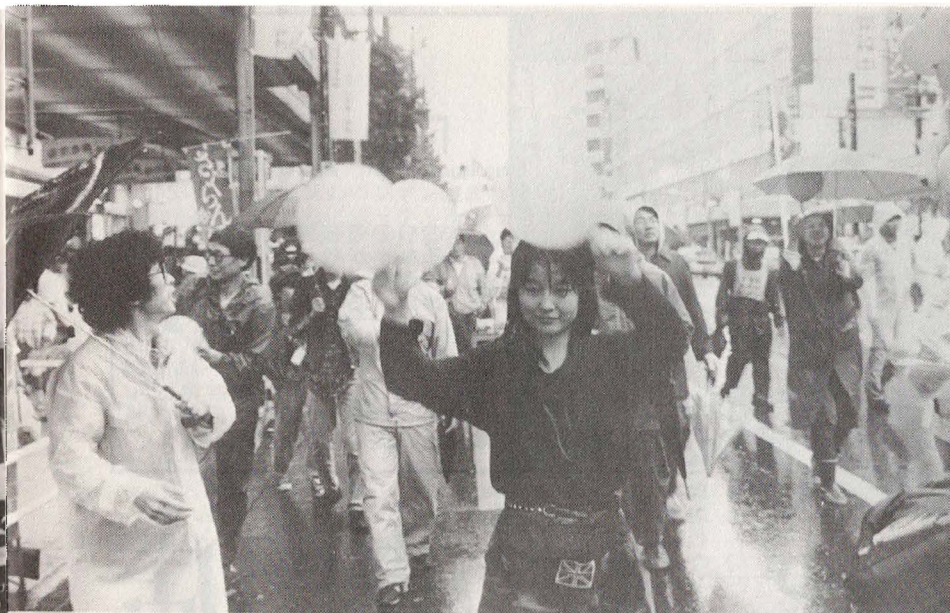
最近ようやく、いろんな本を読むようになってきたんだけど、
対して不満も出てくるはずだと思ってるんですけど、刺激がないっていうのかな。
だからもっと状況が悪くなって危機感が実感できるようなになったら、また違うかもしれないけど、とりあえず今は別に困らないからね。でも、僕だってあんまり批判できない。自分自身も、どうせ政治はうそつきだ、とか、どうせ何も変わらないって思っていたからね。

な意味で受けとる側が社会に関心があるかとか、どういうふうに物を見るかっていうことだと思えますね。その意識がない人はどんな歌聞いても変わらないような気がするんですよ。だから音楽にメッセージがないとかいうことよりも、意識がないから音楽に表れないっていうのかな。反核コンサートに行くことと、その人が日常でも核のことを考えていることとは同じじゃないです。でも、僕は音楽が人の価値観を変えるだけの力を持っているかっていうと、そこまでの力はないんじゃないかと思う。ただ音楽によって今まで知らなかったこと、たとえば歴史的事実とかを知ることになったり、もっと調べてみようというたり、ってことはあるでしょうけど、
——きっかけにはなる、と。
「そうですね。でも、それだけじゃなかなか。もっといろんなことが重なってるとして。教育のこととか、親との関係とかね。学校でもあまり教えないようだし」
——日常的にないわけですからね。
「だから、本当に効果的なことをやるんだしたら個人レベルから始まらないとダメだって気がします」

ね。たとえば戦争みたいなものだって考えてみれば個人対個人のことの延長だと思える。「あいつはイヤな奴だな」って思うこと、これも暴力だと思えるのね。そういう人間ひとりひとりの暴力的な関係を大きくしていくと、国と国との関係につながるんだと思いますね」
——メディアの影響も大きいですね。
「日本の電波は政治的発言は許さないですね。自主規制なんだと思うけど。テレビも、もっとトーク番組が増えたら、もうちょっと面白くなるんじゃないかな。やっぱりテレビでやらなきゃダメですね。不特定多数の人が見るものじゃないと。活字は関心がある人じゃないと。読まないから。意見を交換する場、ケンカする場でもいいと思うのね。一方的じゃなくてね。それから、人気のある人をもっとビシビシ言い出したら面白くなりましょ。たとえばビートたけしが言ったらインパクトあるもんね」
——不偏不党なんて言っているのも、実はずいぶん片寄った意見しか出てこないんですよ。これからのビシビシ言ってくださることを期待しています。

●6月27、29日

海の軍備撤廃の ための週末



スピーチの合い間にはロック・バンドの演奏があって、出店も並び、ちょっとしたお祭り、という感じの集会風景。
デモの途中で風船を集めて型どったニュージャージーを「解体」。青い海の色をした風船はひとつひとつ、道行く人たちに配られました。(横須賀)

海洋の軍事化の危険性を訴え、それに反対する世界的な世論をつくるために、「海の軍備撤廃のための週末」が、6月27、29日の3日間、世界中の海軍関連施設の近くで行なわれました。

まだ各地から届いている報告はわずかですが、日本の行動も含めて紹介しましょう。

●日本

横須賀、呉 佐世保で行動

日本では本土にある三大海軍基地、横須賀、呉、佐世保で同時行動が行なわれました。

横須賀では、28人の呼びかけ人の呼びかけを受けて約65団体、220個人が実行委員会をつくり、「コモン・デイト6・29 太平洋民衆とともに戦艦ニュージャージーを止めよう!」という名称で集会とデモが行なわれました。

海洋の軍拡は、いま日本ではトマホークの配備と戦艦ニュージャージーの8月寄港という形で私たちの前に姿を見せています。世界同時行動の中でこの問題を強く訴

えながら、ニュージャージー寄港反対運動の具体的な第一歩にもしよう、というものです。

当日は、あいにくの強い雨。それでも、かけ値なしに500人の人々が集まり、臨海公園で集会をしたあと米軍基地の前を通るデモをした。

横須賀の草の根運動の人々がこの日は多勢参加して出店を出した。高校生のロック・バンドが参加した他、キリスト者の参加も多かった。そして、ニュージャージー寄港を本当に止めなければ、という草の根の真剣な気持が準備段階から強く伝わってくる行動でした。

呉では、「6・29アクション・イン・クレ」と名づけられた。中国地方の反核・反基地運動のネットワークも含め、34団体がこの行動のために実行委員会を組み、当日約120名が参加しました。全通広島の労働者や、関西からの参加者、そして地元のYWCAからの参加が印象的だった。市民運動の集会で、呉で100人以上が集まったのは画期的なことだったのです。

佐世保では、集会という形の催しは行なわれませんでした。が、福

みを行なったのち、ダイ・インは警察の阻止線の外で敢行されました。

●太平洋運動

行動計画実現へ

カンパを

6月の国際共同行動を準備した反トマホーク・アジア太平洋運動(「海の軍備撤廃を!太平洋運動」に改称)は、運動をさらに発展させるための行動計画(大衆的な宣伝をすすめる。1987年に太平洋反核ボート会議の開催など)を立てました。この行動計画を実行するために、運動に参加している国々の人々にカンパを訴えることになりました。非核・独立のアジア太平洋を創り出すために……

●カンパ送り先

郵便振替口座 東京9-188928 口座名 反トマホーク・アジア太平洋運動基金(カンパ一口1,000円 特別カンパ一口10,000円)

連絡先 東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502号 トマ喰い虫社

呉でも元気にデモ



岡と熊本から独自にそれぞれ10名の反基地ツアーが佐世保を訪れ、世界の同時行動の人々と志を共にしました。

●フィリピン

スービック基地へ 自動車デモ

フィリピンでは、6月28日、マニラからバタイン半島にあるスービック米海軍基地にむけて自動車デモが行なわれ、その後、スービック基地前で400名が「アメリカは出てゆけ」と叫んで抗議行動をしました。メッセージをのけた風船とびんが空と運河に放たれた。メッセージには「これを拾った方の所には、スービックで核爆発や

核事故があったときには放射能も届きます」と書かれています。基地前の集会では、「アメリカの核戦略はフィリピン人民を犠牲にしようとしている」と強く訴えました。

●アメリカ

戦艦ミズーリを 小舟で包囲

6月28日、時差を考えると日本の行動とちょうど同じ時刻に、戦艦ニュージャージーの兄弟艦ミズーリがゴールデン・ゲート・ブリッジのあたりで25隻の小舟のピース・ネイビーに包囲されました。一方、戦艦ミズーリのサンフランシスコに通じる道路を抗議団が封鎖し150名が逮捕されました。

原潜の巣窟と言われる米コネチカット州グロトンでは38番目のロサンゼルス級原潜ヘレナの進水式に抗議して6月28日、造船所のゲート前でダイ・インが行なわれました。「トライデント阻止連合」の100名が参加。ヘレナを建造したゼネラル・ダイナミクス社の子会社エレクトリック・ボート社の造船所の前で三時間の坐り込

愛知 反核ウォークラリー 元気に歩く

刈谷市にある依佐美送信所（通信基地）に反対するビラを、基地周辺の1500戸に配りました。その後、6月17日には、スライド「依佐美送信所とアメリカの核戦略」の初上映会。続く24日には名古屋市中、武藤一羊さん（アジア・太平洋資料センター）、「トマホーク阻止京都連絡会」の仲間と一緒にシンポジウムを開催。翌日の25日には名古屋市中から依佐美まで歩く「反核ウォーク・ラリー」を行いました。早朝5時に出発して刈谷市内の公園では集会を開催、約60人が集まりましたが、付近の農家の人たちが飛び入り参加するなど、なかなか活気のある行動になりました。

あいち反戦の会052・762・5118

横浜 通信基地に こだわり続けて一年

6月8日に、「上瀬谷基地はいらないウドの会」と「生活クラブ生協」の西部ブロック6月集会実行委員会が共催で「じょうだんじ

やないよっノ」気がつけば核基地——上瀬谷基地はいらない6月集会」を開き、会場の生活クラブ生協旭センターには約80名が集まりました。「ウドの会」は昨年夏に結成されて丸一年。これまでの月々の例会での勉強会を積み重ねた成果を初公開のスライドに盛りこんでみました。これからは通信基地へのこだわりを地域で続けていきたいと思っています。

上瀬谷基地はいらない！ウドの会045・363・1111内線425 富永

鳥取 鳥根両県知事 に原発中止の交渉

先のソ連のチェルノブイリ原発事故以後、中国地方の各地で原発に反対するビラまきや学習会を積み重ねてきました。特に5月にはいろいろな団体が集まって「中国地方 反戦・反原発・反火電等住民運動・市民運動交流会」を開きました。鳥根原発のある鳥根県、青谷気高原発計画のある鳥取県の両県知事との交渉も実現。交渉では鳥根原発1号炉の即時停止、同2号炉の建設中止、中国地方の全家庭にヨウ素剤の配布などを要求

しました。今後も引き続き、ねばり強く交渉を続けていく予定です。米子市政研0859・33・6475

東京 チェルノブイリ事故 と原発を考える

チェルノブイリ原発事故以降、東京でも集会、デモ、ビラ情宣、放射能電話相談室等々と、多彩な取り組みをしてきました。そして、7月4日には、「チェルノブイリ原発事故と放射能の恐怖」というテーマで大きなシンポジウムを開催しました。

当日は、会場を一杯に埋める400名の人々が集まり、この問題の関心の高さが伺われました。特に、いつもの反原発の運動では見られない人々が多数参加していたことが目につきました。

パネラーには、高木仁三郎さんが事故の全体的な説明をし、ヨーロッパから帰国されたばかりの市川定夫さんからは、ヨーロッパの状況、放射線の影響等の話しが聞けました。他に、豊崎博光さん（カメラマン）が太平洋の被爆者の状況との対比、そして、三輪妙子さんが原発のない社会のあり方など

熊本 通信基地予定地へ ハイキング

5月11日、えびの市の国有林に建設が計画されているVLF（超長波）送信所予定地へハイキングに出かけました。地元、人吉の市民たち、建設反対呼びかけ団体など40人が参加して片道5キロの道をてくてく。まずは足と目で確かめよう、というのがこのハイキングです。

くまもと市民センター096・345・5904

横浜 オーストラリアから 女性が反核留学

オーストラリアの反核グループPND（核撤廃のための人々）の一員、ジョー・ヘイターさん（26歳）が日本に滞在中。生活クラブ

生協の86平和アクションの主婦たちが受け入れ先となって、今、全国のグループとの交流会を行なっているところだ。

ヘイターさんは看護婦をしながら反核運動に参加していましたが、今は「念願かなって」PNDが給料を出す専従員になったそうです。PNDは、オーストラリアで米軍の艦船が最も多く寄港しているフリーマントルに近いパースに根拠地を置いて反核運動を展開中。「日本の反核、反トマホーク運動との実り多い話し合いを期待しています」と彼女は語っていました。約100日間、10月初めまで滞在の予定。



京都 ニュージャージー反 対の気運、急上昇

連続して講座を開いてきた「核基地日本を考える講座」、6月13

日の第5回は「日米安保批判ガイドライン安保を斬る」と題して、武藤一羊さんを講師に迎えました。

また、6月に「戦艦ニュージャージー8月下旬寄港か？」のニュースが伝わるやいなや、さっそく毎週木曜の夕方に街頭で反対を訴える運動を開始しています。そのほか、7月27日には労働者総合会館に軍事評論家の海堂新さんを招いて「核艦船ニュージャージーを止めろ！7・27京都集会」を開催。これを機に、反戦、反核や反原発に取りくんできた仲間たちが集まって新たに「ニュージャージー寄港阻止京都実行委員会」（仮称）を結成するための話し合いが着々と進行中です。とにかく8月はパンフレット、スライド、ポスター、ハガキなど、あらゆる手段を使ってニュージャージーに反対しようと思ひこんでいます。

トマホーク阻止京都連絡会075・255・0261

佐世保 佐世保市長、長崎県知 事にNO・NJで面会

7月18日から20日。反トマホーク首都圏運動は、佐世保市長と長

崎県知事に戦艦ニュージャージー寄港反対の行動を要請するために直接面会しようと佐世保へ行きました。

今回の申し入れの目的はふたつ。ひとつは、自治体とマスコミにニュージャージーとは何か、いかなる目的で西太平洋に来るのかについて資料をもって正確な事態を伝えること。特に核トマホークの証拠を示すこと。もうひとつは、日本政府にたよるのをやめ、自治体が独自の非核の行動を起す必要性を訴えることでした。

佐世保市は、文書回答を約束、長崎県は文書回答は慣例でないとのこと、しかし、NHK、テレビ長崎が県への申し入れを報道。2日間7つの新聞記事がこのことを報じました。

20日には、佐世保現地闘争本部（長崎県評など）のニュージャージー反対集会（2000人参加）で福岡、熊本、長崎の仲間の元気な顔をみる事ができました。

梅林宏道

トマホークの配備を許すな！首都圏運動03・498・6095

ニュージーランド産 キウイフルーツ入り“ピースチョコ”はいかが？

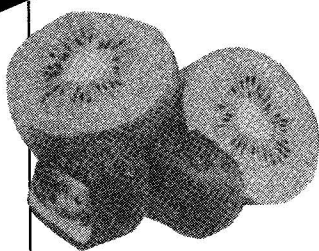
ニュージーランドの非核政策は今、アメリカやイギリスの圧力やそれに同調する日本、オーストラリアの介入によって苦しい立場に立たされようとしています。ニュージーランドが非核を続けるため、そして私たちが反核の意志でつながるために、ささやかであっても、応援の気持ちを形にしたいと思いました。

注文はトマ喰い虫社まで。

24個入り1箱1200円、3箱以上割引あり。

運動として扱われる方への卸値について相談に応じます。

私たちもニュージーランドの
非核政策につながれます



軍事基地反対の声



寺澤晴男さん
1967年三宅島生まれ。国学院大学卒。青ヶ島中学校、都立柏江高校教員、東京都教育委員会社会教育主事を経て、三宅島に帰り、現村長を務める。

東京都三宅村は、浜松町から定期便の船で約5時間、飛行機で約1時間の距離にある。

厚木基地に匹敵する2000メートル滑走路と空港設備が必要とされる軍事基地建設の候補地として名があがった約3年。アメリカの航空母艦ミッドウェイの艦載機が夜間離発着訓練（略称HLP）をするための施設建設を目標とする政府自民党、防衛庁は、7000億円にものぼる見返り公共事業援助金をちらつかせて、村民に建設受け入れを迫っている。しかし、人口4250人中の約8割にもおよぶ島民たちが反対の声をあげ、2000人が参加する「官民共用空港に反対する会」を84年に結成。村長、議会、住民が一体となった反対運動を続けている。

—三宅島の人が、これだけがんばっている、その理由は何でしょうか。

寺沢 うん、自分たちのふるさとには誰にも侵させない。自分たちで守るんだという郷土愛が根底にあって、

思想・信条が先にあるわけじゃないから、こんなに団結して強いんだと思っていますよ。

—空港建設で島の産業振興がはかられるという人もいますが。

寺沢 三宅島は、伊豆諸島のなかでも最も噴火の危険が多い島な

モノも金もいりません 住民あつての 三宅島なんですから

んです。この50年間に3回の大噴火を経験しています。それを持ち越えて住民は生きてきた。むろん行政の保障も確立されていたわけではないので、自分たちでやる以外にはなかった。他力本願というよりは、その度、自分たちで活路を

切り拓いてきている。だから、今回の件で「国益」「世界のなかの一員」と称して自分たちが犠牲を負って推進せねばならないというのは、わからんですよ。

地方自治というのは、あくまでもそこに住む人々が自分たちの生

活の場所をよくすることに責任があり、義務なわけです。地方自治で、その地域がよくなれば日本全体が豊かになるし、社会全体がよくなる。いまのように他力Ⅱ国の力で開発してもらうような考え方は捨てなきゃいかん。

よそから活力を導入しても、それは見せかけの活力であって本当に住民のためにはなりません。ここにこれだけの緑と自然があって、いい気候にめぐまれている島に、なんで厚木でいやがられ、全国で嫌われ、沖繩の様に住民の生活を破壊するものをもってくるのか。そんなものをわれわれが協力

する必要があるのか、ということ。を各自自治体や地域住民が主張して、自分の所には作らせない、という気持ちでいけばいいんだと思いますよ。だから、安保反対とかトマホーク反対とは三宅島の住民はいわないけれども、こういう一つひとつの事で強硬に反対すれば、そんな目的も最終的に達成することになると思います。

三宅島は、運命共同体のような連帯が、意識するしないにかかわらず歴史のなかで形成されてきていたが、空港問題で精神的に分裂し、きずなが失われてきている。その意味でも「モノも金もい

りませんよ」といいたい。見返りで島を興そうなんて、一部の人間は考えるかもしれないが、多くの人は考えていませんよ。官民共用空港作って、うるさいからと防音工事やって何になりますか。電話料の割引やテレビの視聴料減免措置をやって何になりますか。そんなものを「欲しくありません」といいたいね。

厚木基地の騒音訴訟の東京高裁判決。あれは、騒音がうるさいというのには住民のわがままでというわんばかりの判決でしょ。国民は公共のためにがまんしろというわけだ。そんな判決あっていいもんですか。安保は日本を守ってくれるための協定。政府のいい分をかりれば、東西対立で日本が安全を守っているのは安保のおかげとなりますね。そんなに国民が豊かになるための法律であつたら、たとえ一握りといえども、そこで苦しむ住民がいたら、何のための安保条約だ、ともいいたくありませんね。

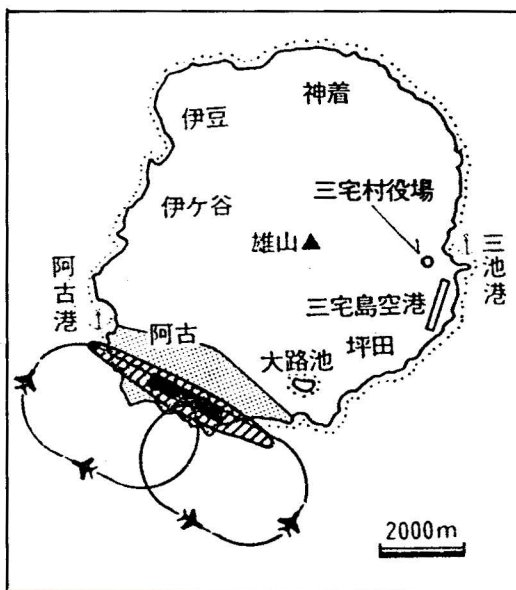
買えない心の豊さ

—空港建設で基地交付金が入り施設が整うという話には。

寺沢 そういう事は、よくいわれますよ。例えば交付金で会館が建つ。古くなれば建て直さなければならぬ。その時、防衛庁や国に行く。防衛庁は、建ててあげましょう、その代りにこういう施設を作らせてください、とだんだん条件を重ねて、それをのまなければ金を出せないと言う。

それに、維持費、人件費などは国が負担しませんから、すべて自治体や住民の負担になる。今の公民館、学校、役場などの施設を維持するだけでも公民館がひとつ建つぐらいの金が毎年かかっていますよ。その上に立派な公民館を建てて誰が利用するんですか。例えば、すこし照明が明るくなった公民館ができて、われわれの生活や心の豊さは、そんなものじゃ買えないんですよ。

空港作って、住民が夜も眠れない生活を送らざるをえないとしたら。子供たちの発育不良、妊婦が流産するようになって、行政の財政力が豊かになる。そんな政治はできません。住民を犠牲にして、何が三宅島の発展ですか。住民あつての三宅島なんですから。



三宅島 三宅島は東京から約180キロの位置にある伊豆七島のひとつで、面積55.1km²、周囲35km、人口約4250人。昭和に入ってからだけでも3回の火山噴火を体験。岩ノリ、くさや、濃厚牛乳の産地。

TOMAHAWK

DATA

予算審議にあわせて行われる恒例のS. J. ホステットラー海軍少将のトマホークに関する議会証言が入手できたので紙面の許すかぎりその主要部分を訳出する。特に、今日、海軍当局がトマホーク・システムを軍事的にどう位置づけているかを理解するのに役立つだろう。また配備の進行状況を知る上でも貴重である。注目すべき点は次の通り。

●ホステットラー合同巡航ミサイル計画局長の証言

1986年3月11日 米下院予算委員会国防小委員会

背景

昨年、述べましたように、海軍の目標は戦争を抑止すること、そしてもし抑止が失敗したときには敵の攻撃に効果的に対応することです。従って、私たちは現有の艦船や建造中の艦船の能力を広範囲の作戦を遂行できるように極大化する方法を見出す必要があります。海洋発射巡航ミサイル・トマホークはそのための努力に重要かつ経済的な貢献をするものです。

トマホークは単に一つの武器ではなく、数種類の形のミサイルと、数種類の形の発射台と、水上艦と潜水艦の複雑な混合システムよりなる一群の兵器体系です。

現在、艦船に配備されている海洋発射型のミサイルは、対艦攻撃用トマホーク(TASM)、通常弾頭対地攻撃用トマホーク(TLAM/C)、核弾頭対地攻撃用トマホーク(TLAM/N)の三種類です。

TASMは潜水艦および水上艦に全面的に実戦配備中です。TLAM/Nは、予定通り1984年6月に実戦配備状態に入りました。TLAM/Cのうち水平攻撃モードのものの装

①通常弾頭対地攻撃用ミサイルTLAM/Cが第三世界への介入兵器として極めて重視されている。

②核抑止力の飛躍的向上を核トマホークに期待している。

③トマホーク能力をもった潜水艦数は1985年末に15隻、1986年末には25隻になる予定である。

④トマホーク能力をもった水上艦数は1986年3月時点で8隻である。

備は1983年3月に戦艦ニュージャージーに、1984年4月に戦艦アイオワに完成しました。〈中略〉。このTLAM/Cの艦隊への導入は水平モードの攻撃をするミサイルに限って行われました。垂直降下モードの攻撃のできる通常弾頭対地攻撃用ミサイルが量産用の型式です。より広い範囲の陸上目標に対して有効な垂直降下モードの攻撃は、予定より早く実戦評価を成功裡に完了し、今後半に実戦配備されようとしています。

これらすべての種類のミサイルは、攻撃型潜水艦、巡洋艦、駆逐艦、戦艦など、現存の艦船および将来できるすべての種類の海軍の艦船に配備される予定です。またミサイルは、今日戦艦ニュージャージーや戦艦アイオワに設置されている装甲箱型発射台、現在のロサンゼルス級潜水艦にあるような攻撃型潜水艦の魚雷発射管、そして近い将来にスプルーアンス級、アーレイ・パーク級の駆逐艦、ひき続いてロサンゼルス級潜水艦に設置される予定の垂直発射台など、さまざまな発射システムから発射することができます。

この多様な兵器群を広い範囲の水

上艦や潜水艦に設置することによって、私たちは攻撃能力を倍加することができます。これは、計画されている空母戦力の水準を越えて攻撃能力を多方面に散らせることになりま。その結果、ソ連はすべての戦闘グループの船を潜在的な脅威と見ねばならずソ連の対応を複雑にさせるでしょう。〈中略〉。

たとえば、対艦トマホーク(TASM)は、通常弾頭一発で大きな損傷を相手に負わせることができます。また、従来よりも水上艦や潜水艦の攻撃射程距離を4〜5倍に伸ばし、250マイルの作戦距離をとることができます。さらに目標探索能力が広がったため敵艦の照準・攻撃能力が強化されました。

通常弾頭の対地攻撃型トマホーク(TLAM/C)は、トマホーク計画の心臓部分であると私は信じていますが、一連の陣容の水上艦や潜水艦に設置された暁には、海軍に新しい打撃能力を付与するでしょう。この兵器は、艦船やさまざまな陸上目標をたたくための単一の通常弾頭を装着する場合と多くの小爆弾を内蔵する弾頭を装着する場合があります。その多様性と500〜700マイルの射程は海軍戦闘に新しい可能性をひらきつつあります。

水上艦配備は8隻が完了

通常弾頭の対地攻撃用ミサイルは、空母艦載機の消耗が激しすぎる場合にそれを補助したり補完したりします。それは、より高価な航空機やパイロットを危険にさらすことなくアメリカの意志と決意の表明として、限定的でよく計算された対抗手段を講ずることを可能にするのです。ま

TOMAHAWK

DATA

たそれは、わが攻撃型潜水艦と水上戦闘艦船の大部分から陸上目標を高度な打撃力でたたくことを可能にします。TLAM/Cが空母艦載機とともにより多数配備されたとき、私たちの手にする選択の幅が広まり、核戦争のしきいを高めるような通常兵器による攻撃を選択可能なものにならしめるでしょう。

対地攻撃用核トマホーク

前述しましたように、対地攻撃用核トマホーク(TLAM/N)は1984年6月に艦隊に導入されました。それは、作戦距離1500マイルに核弾頭を運搬するものです。TLAM/Nはアメリカの戦域司令官に核戦争の抑止と抑止が破れた場合に陸上標的を危険に曝すためのより高い能力を世界的な広がりで見せました。TLAM/Nの軍事的な有用性は、第一義的には、現存するもの、建造計画中のものを含めて、大量の潜水艦と水上艦に配備されることによって重大な攻撃的火力を広範囲に分布させることに起因にします。TLAM/Nは最小限のリスクとコストで世界的な広がりでの攻撃能力を達成することを通して、ソ連に新しいスペクトルの脅威を与え抑止を強化するのです。加えるに、TLAM/Nは、生き残り核戦力に寄与することによって、わが戦略的抑止の目的にも役立ちます。

対地攻撃の目的では、空母艦載機とTLAM/Nの結合が空母戦闘団の柔軟性と効率を非常に高めます。空母艦載機の護衛下にある多数の水上艦や独立航行している前進配備の多数の潜水艦の攻撃半径が高まることによって、ソ連は360度の方向から圧倒的な脅威に曝されることになり、彼らはそれに有効な対抗手段をもたないのです。従って、TLAM

/Nは生き残り核戦力(NRF)によってうってつけの兵器です。海軍の多数の船に分散することによって、国家政策である核抑止とNRFの目的を支えつつ、TLAM/Nはアメリカの戦域司令官に重要な、生き残り可能で持続性のある非戦略核戦力を与えることができます。また、それは国家司令機構(NCA)に、戦略システムに頼ることなくエスカレーションのコントロールに関する選択の幅を広げることを可能ならしめます。

TLAM/Nを実戦配備することによって、アメリカ海軍は今日海軍力や他のいかなる戦域兵力によってもカバーできていない広大な陸地面積を危険に曝すことのできる能力をもった艦隊を、現行の14隻体制(注：トライデント戦略原潜のこと)から190隻以上の潜在力をもった体制の艦隊へと移行させることとなります。〈中略〉。

潜水艦発射の巡航ミサイル

潜水艦発射の計画は予定通り進行しています。1985年の終わりには合計15隻のトマホーク能力をもったロサンゼルス級およびスタージョン級潜水艦が存在しました。1986年には更に10隻がトマホーク能力をもつに至るでしょう。トマホークを装備した潜水艦は、今日、世界に広がる作戦領域に日常的に配備され、その多目的な任務を遂行するにあたって潜水艦火力を大幅に強化しています。

トマホークの潜水艦配備を支援するために、潜水艦母艦と海岸施設の改造も予定通り継続されてきました。1985年の末には7隻の潜水艦母艦と3カ所の海岸施設が潜水艦オペレーターへの支援能力を獲得しました。グアム島とマリアナ諸島の海軍弾薬施設が現在改造中です。

潜水艦垂直発射トマホークMK45カプセル発射システム(CLS)は、試作段階であり、開発試験を成功裡に完了して技術評価と実戦配備評価の段階に予定通り進もうとしています。原潜ピッツバーグ(SSN720)が初期の潜水艦水中試験用に垂直発射CLSとミサイルを準備しました。〈中略〉。CLSは原潜プロビデンス(SSN719)とそれ以後のロサンゼルス級原潜に12発の外部ミサイル発射能力を付与することになるが、この能力は一個の魚雷を排除することなく重要な戦術的改良をもたらすものです。

水上艦発射トマホーク

水上艦発射トマホークも予定通り進行しています。今年的主要な成果は、垂直発射能力を艦隊に導入したことでした。海上にある船からの初めての垂直発射は1985年5月に、海軍艦船ノルトン・サウンド(AVM-1)から行われました。垂直発射に対する作戦評価は先月に行われました。最初の垂直発射巡洋艦となったパーク・ヒル(CG-52)が1986会計年度中に試験を完了するでしょう。〈中略〉。

戦艦ニュージャージーは最新の装備状態に引き上げられたのち再承認されました。計画されている4隻の戦艦のうちニュージャージーとアイオワの2隻が、現在トマホークを承認され、32発のトマホークを配備する能力をもっています。3番目の戦艦ミズーリは、ここ二カ月以内に再就役する予定です。

1985会計年度の間に5隻の艦船(3隻の駆逐艦と2隻の巡洋艦)がトマホーク承認済みとなりました。この結果、今日までに海軍には8隻のトマホーク能力をもった水上艦が備ったことになります。

読む

基地と海洋戦略

前田哲男・軍事評論家

「フィリピンと将来」

これらの論文や記事はどれも、^①シーパワー思想の確立者として知られ、「海のクラウゼヴィッツ」^②と称されるアメリカ人A・T・マハン^③によって、今世紀初頭前後に書かれたものばかりである。米海軍大学の二代目校長に就任したマハン大佐は、これらの著作を通じてパナマ運河の開さくによる太

「ハワイとわが海上権力の将来」

「中米地峡と海上権力」

「合衆国とその新しい属領との関係」

太平洋を背景としてエスカレートを続ける軍事情勢。とりわけ、80年代に入ってから米、ソ、核保有二大国が「核のせめぎ合い」の舞台を持ち込んだことで、いよいよ太平洋の波は荒立てられた。アジア・太平洋地域に置かれた基地を点としながら、その点を結びつつ展開されるアメリカの海洋戦略と、それに対抗するソ連の動きを歴史的、状況的に分析しながら、太平洋にくりひろげられる戦略が私たちにもたらず意味を考えたい。

平洋、大西洋の両洋艦隊の建設、および海軍根拠地としてのハワイ、グアム、フィリピンの確保を強く進言した。

「合衆国が海外に植民地や軍事根拠地をぜんぜん持たないとすれば」と彼は言う。「戦時においてその軍艦は陸棲の鳥のようなもので、自国の沿岸から離れて遠く飛翔することはできないであろう」

この大海軍主義と太平洋への膨張政策を政治面で強力に推進したのがテオドール・ルーズベルト大統領であり、アーサーとダグラスのマッカーサー父子とフィリピンとの関係もこの時期に始まっている。アメリカと太平洋とのつながりは、このようにマハンによる大海軍主義に触発され、形成の歩を刻むようになったと言ってよい。

①シーパワー思想 国家が発展するために海洋を利用する能力を重視する考え方。外洋に展開できる強力な海軍力を軸に、制海権を確保して、沿岸国への影響力を拡大し敵対国を封じこめる。現在では、海洋の核戦力がシーパワーの柱となっている。ソ連でもゴルシコフ提督が提唱し、ソ連海軍を強化した。

②カール・フォン・クラウゼヴィッツ (1780-1831) プロシヤ(旧ドイツ)陸軍少将。対ナポレオン戦争に参加。後に数々の戦争理論を著わした。代表作『戦争論』のテーゼ「戦争は軍事的手段をもってする政治の延長である」は有名である。

③アルフレッド・セイヤー・マハン (1840-1914) アメリカ海軍少将。シーパワー思想の創始者。1890年『歴史におけるシーパワーの影響』(邦訳・海上権力史論)のなかで、イギリス海軍史分析から公海におけるシーパワーの恒久的確立の重要性を説いた。

④大海軍主義 海外での自国の権益や支配を守るためには、外洋に展開できる強大な海軍力をもつべきであるという思想。

⑤パワーゲーム 軍事力の増強によって、世界的な影響力、支配力の拡大を競いあうこと。

⑥仁川上陸作戦 1950年6月にはじまった朝鮮戦争は、朝鮮人民軍朝鮮民主主義人民共和国)に圧倒されたアメリカ軍、韓国軍は釜山まで追いつめられた。この戦局を逆転させるためにダグラス・マッカーサー指揮の国連軍が、9月15日ソウル付近の仁川に上陸。仁川を占領、さらにソウルも占領した。背後をつかれた人民軍は38度線へ押しもどされた。



▲原子力空母カールビンソン (1984年12月 横須賀)

そして今日いぜんとして、パナマ、ハワイ、グアム、フィリピンは、米軍事力にとっての要衝、策源地としての地位から解放されていないのである。世界国家としてのアメリカ、海洋戦略の展開、海外根拠地の確保は今なお有効さを失っていない三位一体の関係にあると言えるよう。

第二次大戦後のパワーゲームに

においても、海洋戦略と海外根拠地は、世界国家アメリカの切札、というより、それなしには一歩も進めぬ「前提条件」であった。もし太平洋の排他的使用権と日本・グアム・フィリピンの基地がなかったと仮定したならば、米軍は朝鮮戦争において仁川上陸作戦をなし

得ただろうか。また、ベトナム戦争の期間を通じ、空母からの「北爆・南爆」を実施し得たかどうか、考えてみるだけで十分だ。ソ連をその領域周辺に封じ込め、アメリカが主導権を持って核抑止戦略を達成するには、海外支配力の独占的維持は、西側同盟国支配、先端技術支配とならぶ基本的な要因として位置づけられてきた。

太平洋を舞台にした核のせめぎあい

1980年代に入って、太平洋をめぐる軍事情勢が大きく動くよ

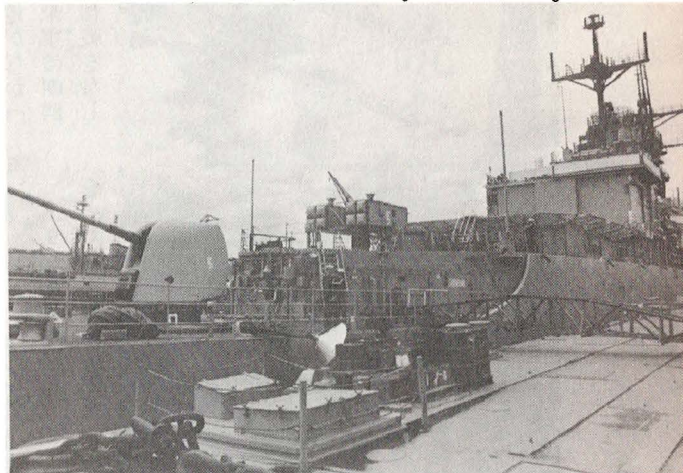
うになったのは、この「基地と海洋戦略」という両面に構造的な変化を強いる衝撃が加えられたからにほかならない。この衝撃とは、米・ソによる地球レベルの「核のせめぎ合い」の舞台が太平洋(目下のところその北西部)に持ち込まれたこと、および米軍が対ソ戦略を組み替え、新兵器の配備と新しい同盟国(基地運用)関係を構築すること、の両面からやってきた。だから太平洋での核軍拡の進展、核危機の増大という現象は、米・ソによって一方的に強いられ

た状況と、最近の日米防衛協力にみられるような、基地提供国の側で選び取った状況の二つが、同時進行し、また相互刺激しながら危機を加速させていると言えるだろう。その意味において、米・ソへ向けられる「海洋の非核化」という全般的なテーマと、米に対して向けられる「核基地化反対」の目標は、ひとつながりのものとして捉えられ、認識されなければならない。

太平洋の波を荒立てている第一の側面は、いうまでもなく米・ソの新世代海中核(潜水艦発射戦略ミサイルSSLM)が配備され

たことに由来している。その結果、太平洋の一角からモスクワとワシントンに核の狙いがつけられるようになった。と同時に、それまで北洋漁場としてしか知られることの少なかった、オホーツク海、ベーリング海、アラスカ湾などには、核策源地としての意味と力が宿る作用をもたらされた。

核弾道ミサイルを潜水艦に積んで、海中から敵の政略中核を照準下に置くとする試みは、1960年、米原潜ジョージ・ワシントンにボリスA-1型SLBMが装備された時以来のものだが、特に米側にとって、この海からの照準は、時の経過とともに核の三本柱（ICBM、戦略爆撃機、SLBM）の中でも最重要視される戦力となった。なにしろ海洋は陸地の二倍以上あり、その海洋を手中におさめて核配備することは、米本土に対するソ連の核攻撃力を散らす、ありがたい効果を持つと考えられたからである。SLBMはアメリカ



▲トマホーク搭載可能な駆逐艦オルデンドーフ (1984年10月 横須賀)

が保有する戦略核弾頭の過半数を占めるようになり、ミサイルの射程が延びるにつれて（ポラリス・ポセイドン・トライデント）、戦略原潜の作戦待機海域（モスクワ向けミサイル発射海域）は、60年代には北大西洋、地中海、70年代には加えてインド洋、80年代にはさらに北西太平洋と広がった。西海岸のバンゴール（ワシントン州）には戦略原潜用基地が建設され、太平洋海空軍の優先任務および太平洋基地群の使命も、「対ソ核抑止」を軸に再編されていくことになる。

核時代の大艦巨砲 トマホーク

太平洋に定着しつつある「基地と海洋戦略」のネットワークは、次のように要約できる。

(1) オホーツク海とアラスカ湾を戦

⑦核弾道ミサイル 発射されると大気圏外まで飛び、弾頭が山なりの弾道曲線を描いて目標に落下するミサイル。ICBM（大陸間弾道弾）が代表的である。中距離核ミサイルのなかでは、パーシングII（米）SS20（ソ連）がそれである。

⑧核の三本柱 ICBM—米ソ両国が本土から直接に相手国内を狙えるミサイル。戦略爆撃機—政治、産業中核などの戦略目標を攻撃する能力をもつ大型爆撃機。アメリカのB52が代表的である。SLBM—潜水艦に搭載されているICBM。

⑨SSN—8SLBM 1972—1973年に配備されたソ連の潜水艦発射弾道ミサイル。射程距離7、800—9、100km。

⑩限定核戦争 「戦域核戦争」ともいわれ、一挙にICBM（大陸間弾道弾）を打ち合う全面核戦争ではなく、核兵器の使用地域、攻撃目標、量、威力など限定（コントロール）しながら、自国の壊滅をさけつつ相手を屈伏させるという構想。先制攻撃を伴う。

⑪SS20 1977年ごろから旧型SS4、5に代りソ連が配備をはじめ

略海域とし、ペトロパブロフスクとバンゴールが戦略原潜の基地として対峙する「長距離核戦力」次元のせめぎ合い。

この核の海・核基地・核発射体を防護する目的のために、米・ソ両国の通常海軍戦力（ソ連の太平洋艦隊とアメリカの第七艦隊）が従属させられている。日本などにある通常海軍基地（横須賀、佐世保など）も同様である。

(2) 米太平洋前進基地群（グアム、フィリピン、テニアンなど）と、ソ連極東基地群（ウラジオストク、ハバロフスクなど）との間に形成中の「中距離核戦力」次元の対決圏。すなわち「限定核戦争」の戦域。

ここではソ連のSS20ミサイルとアメリカのトマホーク巡航ミサイルが主役となる。ソ連はSS20のほこ先をフィリピン、グアム、日本列島、朝鮮半島にある米軍基地に向け、バックファイア爆撃機で米空母艦隊がソ連の核聖域へ接近することを阻止する態勢をつくる。一方、アメリカは、対ソ包囲戦力である第七艦隊に巡航ミサイル・トマホークを追加し、グアムのB52に空中発射巡航ミサイルを

⑫先制第一撃 先制攻撃について国防用語事典（朝雲新聞社）は次のようにいう。相手の機先を制して攻撃を加えること。相手が戦闘態勢を充分ととのえないうちに先制攻撃を加え、その戦争遂行能力を失わせることができるかが、勝敗の分れ目。

(3) 在日米軍基地などを足場とする示威行動の強化

アメリカの第七艦隊の空母と攻撃型原潜は、トマホークとALCM⑬によってソ連の中距離核戦力を強力に牽制しつつ、オホーツク海の海中核要塞にいつでも攻撃をかけるという能力をソ連側に「示して」おかなければならない。そうすることによって「抑止の優越」が得られると考えられているのである。日本はこの示威行動に基地（横須賀、三沢、佐世保、沖縄など）を提供することにより、また示威行動に直接・間接に加わる（リムパック演習、フリーテックス演習、チーム・スピリット演習）ことによ

って、戦略核が持ち込み、中距離核が区分した、北西太平洋における「核の磁場」へ自ら求めて参入しようとしているように見える。このような枠組みの中で、米

軍は空母群によるソ連核基地への先制攻撃をも辞さない「戦時海洋戦略」を採用し、戦艦ニュージャージーおよびミズーリを「トマホーク母艦」として太平洋艦隊に配備することによって、中距離核戦力による前進包囲網を完成させようとしているのである。グアム基地のB52、三沢基地のF16も、その一翼に数えられているのは言うまでもない。と同時に、明白この上ない事実として、日本列島をはじめフィリピン、グアム、ミクロネシア（サイパン、テニアン、パラオ）の島々は、太平洋を舞台とする限定核戦域に自らを囲い込んでしまった。

「基地と海洋戦略」は、核時代の大艦巨砲ともいえるトマホークを媒介として、太平洋民衆の上に大きく重くのしかかっているのである。

まえだ てつお 1938年福岡県北九州市生まれ。長崎放送記者を経て、軍事・核問題評論家になる。著書には『棄民の群島』『ミリタリー・アンバランス』等がある

たIRBM。これをきっかけにNATO諸国からソ連脅威の声が上がり、戦域核近代化計画の発端となった。射程距離は4、800—6、400kmの移動式ミサイル。

⑬ALCM 空中発射巡航ミサイル。トマホークの兄弟分ともいえる。B52爆撃機に、1機当り12基搭載できる。射程は2、870km。

⑭リムパック演習、フリーテックス演習、チーム・スピリット演習 いずれも太平洋地域で行われているアメリカを中心とした対ソ海洋・限定核戦争を前提とした大規模演習。リムパックは2年に1回、中部太平洋で日本を含む5カ国が参加。フリーテックスは北西太平洋でアメリカ海軍が実施。チーム・スピリットは、毎年アメリカ・韓国軍によって実施。

⑮大艦巨砲 超大口徑砲を積んだ戦艦を中心に海軍力を強化、整備していくやり方。日露戦争、第1次世界大戦後、列強諸国が競って大艦巨砲の戦艦をつくった。日本の戦艦大和級アメリカのアイオワ級（ニュージャージーは同型）は頂点にして最後のものであった。第2次世界大戦後は、空母と潜水艦に重点が移った。